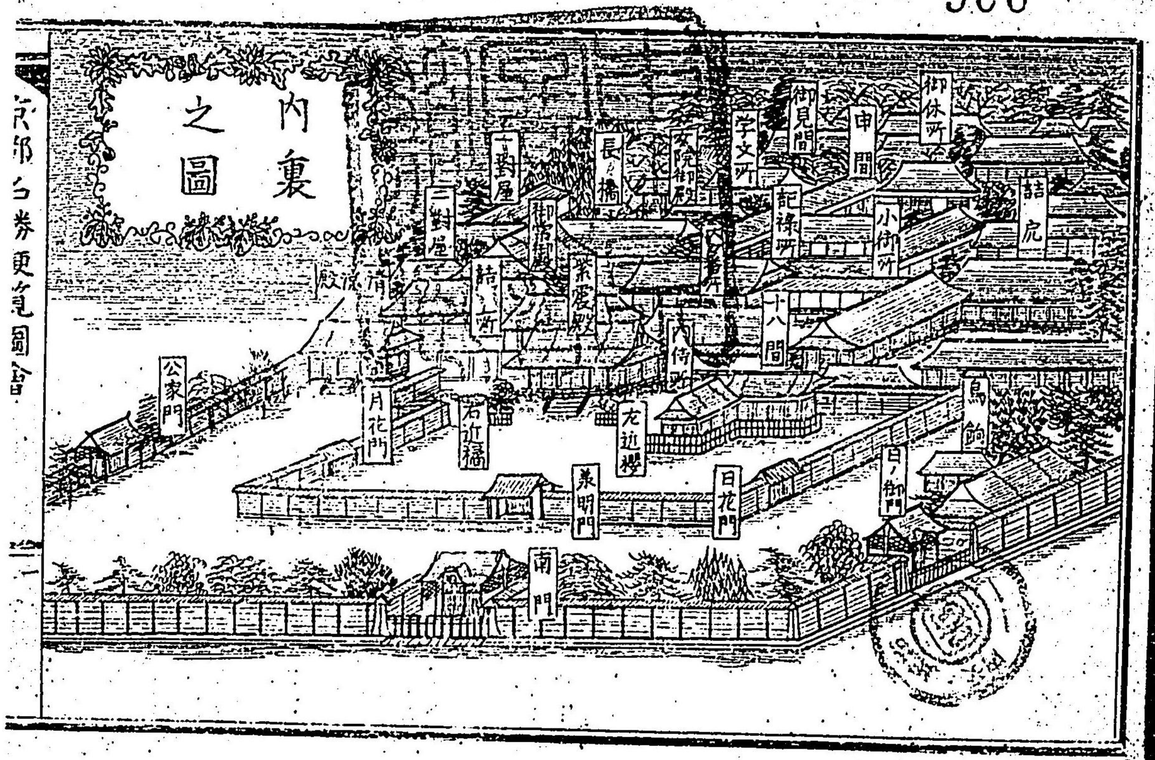
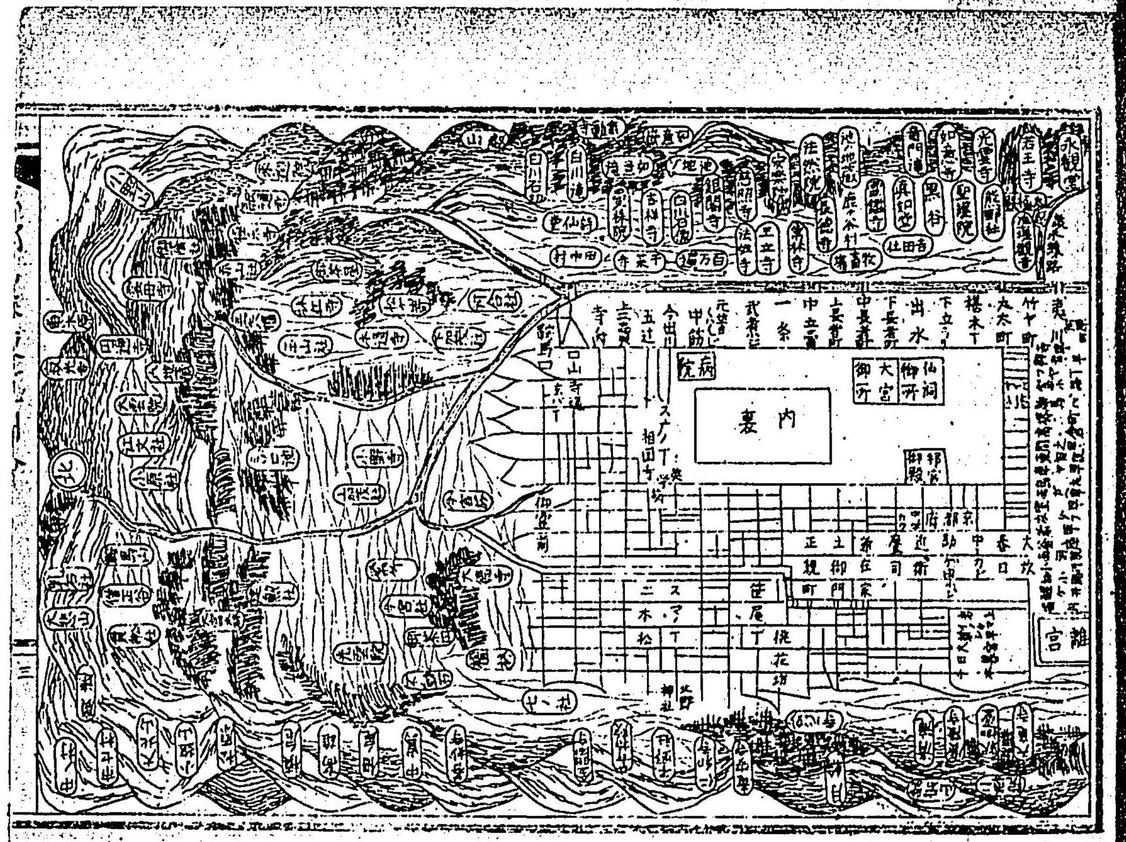
明治改正
京都名所
便覽圖會

内藤全遵堂

特57
966



京都名勝便覽圖會


内裏
病院
御所
大宮
仙洞
御所
一条
武者小路
中筋
出水
上長者町
中長者町
下長者町
裏木下
竹ヤ町
五条
五辻
上三条
中筋
今出川
相国寺
学校
御霊前
正親町
立売
御門
兼位家
大司
御殿
新宮
南北通
京都
中ノ辺
春日
大坂
笹屋ヶ
俵屋ヶ
花坊
ミヤ
ヤ
ヤ

洛中名勝方位

白山社
大光
四條御旅所
大雲院
神宮教會
御影堂
松殼御殿
佛光寺
因幡薬師
東本願寺
停車場
諏訪社
中外電報
電信局
郵便局
毘沙門堂
六角堂
三井銀行
今出寺
空也堂
菅大臣
天使社
本願寺
西本願寺
真正寺
東寺
大教校
大学校
嶋原
大通寺
六孫王

生洲
天主堂
独乙学校
常盤ホテル
勧修寺
女学校
師範学校
医学校
上御靈社
相国寺
内裏
大宮御所
仙洞御所
裁判所
下御靈社
革堂
妙満寺
本能寺
天性寺
矢田寺
士殿寮
京都府
中学校
英学校
奈良神社
盲唖院
会議所
金座薬師
養蠶場
二条日城
誰宮
神泉苑
竹信稲荷
出世稲荷
懲役場
西陣織物市
西陣
条戾橋

標目

○三条大橋より洛中央及東南に至

一三条大橋図 十二丁
一錦天満宮社 北四丁
一歌舞練場 北二丁
一紫震殿図 十三丁
一金蓮寺
一女紅場
一同庭中図 十三丁
一八阪神社御旅所
一製茶場 廿三丁
一仙洞御所庭中図 十四丁
一大雲院 北五丁
一四条鉄橋図
一大宮御所図 十五丁
一神宮教會図
一四条演劇 廿四丁
一二条離宮図 十六丁
一御影堂図 北六丁
一八坂神社図 北五丁
一京都府図 十七丁
一五条大橋小橋図 北七丁
一山鉾図 廿六丁
一警察署
一蛭子神社 北八丁
一圓山公園地
一區役所
一摩利支天
一智恩院図 北七丁
一京都裁判所図 十八丁
一建仁寺図 北九丁
一圓山図 北八丁
一三条大橋諸方街道付図 十九丁
一愛宕寺 三十丁
一鑛泉 北九丁
一新京極通図 二十丁
一六波羅密寺図 二十一丁
一長楽寺
一誓願寺
一道祖皇寺 北一丁
一将軍塚 四十丁
一和泉式部誠心院 北二丁
一安井金毘羅
一東大谷図
一蛸薬師 北三丁
一駆黴院
一雙林寺 四十二丁
一圓福寺
一祇園館
一秋葉山
一高堂寺図 四十二丁
一新日吉社図 五十丁
一七観音院
一阿弥陀峰図
一伽羅観世音
一智積院図
一八阪塔図 四十三丁
一方廣寺図
一庚申堂
一豊国神社図
一霊鷲山
一耳塚図
一三年坂 四十四丁
一三十三間堂図 五十二丁
一真正寺大谷
一泉涌寺図
一大日堂
一今熊野観音
一子安観音
一東福寺図
一清水寺図 四十五丁
一稲荷神社図 五十三丁
一吹上水茶店 四十七丁
一清閑寺
一西本願寺火葬場図 四十八丁
一小松谷
一三島社 四十九丁
一西大谷図
一檀王法林寺
一頂命寺
一粟田社
一佛光寺大谷
一南禅寺図 五十七丁
一イシクラーン図
一永観堂
一若王寺
一光雲寺 五十八丁
一鹿谷法然院
一銀閣寺
一黒谷
一真如堂 五十九丁
一吉田神社
一百万遍
一千菜寺 六十丁
一下加茂神社図
一三条大橋より東北部
一藤ノ森神社
一瑞光寺
一草深
一宝塔寺 五十六丁

一上加茂神社図
一御菩薩池　六十丁
一大徳寺
一妙顕寺
一月輪寺図　七十丁
一愛宕神社図
一清滝川
一水の尾　七十丁
一妙泉寺
一山花平八
一御蔭社
一赤山社
一修学院図
一比叡山図　六十三丁
一并近江八景
一三宅八幡宮　六十二丁
一大悲山
一仁和寺図　六十七丁
是ヨリ北西ノ部
一鞍馬寺
一貴船神社
一岩屋山
一建勲神社　鞍馬寺ヨリ大色寺迄絵図
一今宮神社
是ヨリ西ノ部
一闘魔堂　六十五丁
北野神社図　金閣寺迄ノ図
一平野神社　七十六丁
一金閣寺
一等持院
一龍安寺
一嵐山図　七十三丁
一妙心寺
一波月橋図
一太秦廣隆寺図　七十四丁
一木島社
一梅宮神社図
一松尾神社図
一月讀社　七十五丁
一桂川鉄橋図
一三宝寺
一大徳寺
一三宝院
一尊院
一釋迦堂図
一覚寺　七十二丁
一天竜寺図
一桂川鉄橋図
一三条大橋ヨリ東　六十九丁
日岡ニ至ル北鞍馬
一至リ西高尾山
ニ至ル方位ノ図

一極原
一天原野神社
一花ノ寺　七十六丁
一梅津紙漉場図
一栢社
一西岩倉
一三鈷寺
一善峯寺　七十七丁
一柳谷観世音
一粟生光明寺図
一向日明神図　七十八丁
一長岡天満宮図
一室寺
一天王山図
一離宮八幡宮　七十九丁
一城南宮　童仙坊迄ノ絵図
一澱川橋
一男山神社
一童仙坊　八十丁
一百大山大智寺
一鷲峰山図
一笠置寺
一蟹満寺　八十一丁
一伏水船場図
一巨椋池
一観月橋
一宇治
一平等院
一興正寺　八十二丁
一三室戸寺
一黄檗山図
一日野薬師　八十三丁
一言寺
一醍醐寺
一勧修寺
一花山院
一天石良雄旧跡
一山科御坊
一牛尾山　八十四丁
一日岡峠
一疏水機械場図
一附疏水線路図
一北野神社ヨリ西山　八十五丁
名勝南淀男山
一八幡宮及宇治
山科ニ至ル方位
一畧図
一三条大橋ヨリ洛中ノ部
一基督礼拝堂　八十六丁
一常盤ホテルノ図
一勧修寺別院
一本能寺
一妙満寺

一華堂行願寺 八十五
一下御霊神社
一女学校
一療病院図
一師範学校
一廬山寺図 八十六
一清浄華院
一本善寺
一清荒神社
一本満寺
一阿弥陀寺 八十七
一相國寺図
一同志社英学校
一中学校
一盲唖院
一神泉苑 九十
一壬生寺
一島原遊里
一六孫王経基祠
一東寺図
一真正寺 九十一
一本願寺
一本図寺
一本願寺図 九十二
一天伏社
一菅大臣社
一空也堂
一郵便電信局
一大教校図 九十四
一六角堂
一御所八幡宮
一蘆王神社 九十五
一梨木神社
一仏光寺
一郵便局図
一因幡薬師
一六角堂図 九十六
一東本願寺
一仏光寺図
一因幡薬師図
一東本願寺図
一ステーション

標目尾

尚是ともれたる名勝旧跡ハ第二篇に出ベし

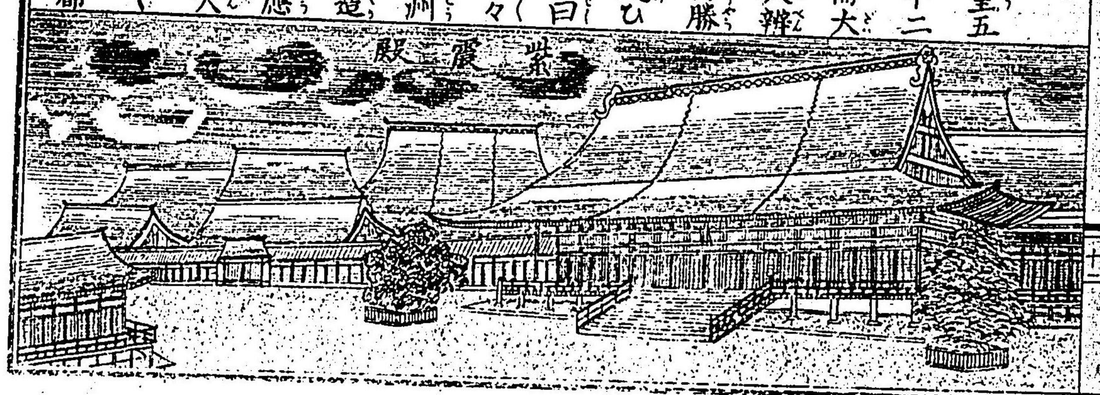
三條通ハ東國より京都へ至る喉口なり貴賤乃行人常ゑ多く京都乃繁花ハ此橋上ゑ見えたり

三條大橋 鴨川に掛る橋にして西を洛中と云ひ東を洛外と云ふ三条通りを以て上下京区の界とす

橋の長さ六十三間幅四間五寸欄干紫銅の疑宝珠十八本有銘戊刻其文曰く洛陽三條之橋至後代化度往還人磐石之礎入地五尋切石の柱六十三本蓋於日域石柱監觴乎天正十八年庚寅正月日豊臣初之御代奉増田右衛門尉長盛造之

京都沿革

平安城乃興基ハ人皇五十代桓武天皇延暦十二年正月甲午日詔有而大納言藤小黒麿又左大辨古佐美等ヨ山背國乃勝地ヲ視せしむ勅ヨ隨ひ郡縣を巡覽して上奏して曰當邦宇多邑ハ地勢郁々として有德無疆乃皇洲也新都を闢き帝城を造萬代不易乃都也其後應仁以後輦下大ヨ乱れ天正乃初織田信長公盡く之を平げ所司代を京都



ヨ設く信長公弑せられ豊臣秀吉公代て國権を握り聚楽及び伏水の地桃山ニ城をきつきて京都を守護せ保豊臣氏亡びて徳川家康公尚所司代を置き二条城の政形を統し伏水ニ奉行を置き松平定綱公を淀ヨ封ぜ享保中稲葉正知之ヨ代世々襲ふ王政革新所司代及び伏見奉行廃ぜ明治二年乗輿東京へ遷留守官を置ヨ二條城を以ニ今ハ離宮と称ニ又

旧御所内地を御苑地と改

仙洞舊院

御所日之御門之東南

仙洞舊殿と称すハ天皇乃御位を後代天皇へ譲り玉ひて自ら仙洞御所へ遷玉ふ○修学院御茶家ハ御行の地あり

仙洞舊院御庭中の風景

ハ池あり木有春ハ櫻花夏ハ池水と樹木の緑を増し秋ハ木乃葉と色を添冬ハ雪光まゞめ實とならびまき御庭中あり

○毎年博覽會中諸人拜見を許されゝ

大宮旧御所

仙洞御所ノ北と並ぶ

宮殿最も美麗なり又仙洞御所の南ハ博覽會場あり其構造御殿つくりあり此場所ハ九太町富小路毎年行当り御苑内とあり

三四月ごろより博覽會場にて諸什寶を陳列し衆人と縱覽せしむ其西ハ気像臺あり又續と旧九条家の林泉あり此ハ九太町高倉あり又西と主殿寮支廳此ハ烏丸九太町角丑寅と宗像神社此と邦宮殿下の御殿烏丸下立賣在其北と白雲神社御車返の櫻中立賣御花内此より北東と旧近衛家の林泉今出川南ノ在東と桂宮御殿天子御誕生地有

二条旧城離宮

上京区堀川通二条に在

此城は永禄十二己巳の年織田信長公造營して禁裏守護仕玉ふより同年十月信長公御城代を置き兼て禁裏守護として本國岐阜へ帰り玉ふ後信長公亡ぜて一旦破壞せしを慶長七年再び錦城を築きて徳川家康公は尚御城代を置別と禁裏守護織又所司代東西町奉行所を置明治以新後悉く旧官名を廃し二條城を以て太政官とし

後京都府廳とし今は離宮と改む

京都府

今は上京区下立賣金座に在

管轄区分

山城一圓八郡京都市は上京区下京区 丹波四郡 丹後一国五郡 伏水四区紀伊内

乙訓三区 葛野三区 宇治二区 久世四区 紀伊二区

綴喜三区 相楽六区 愛宕三区

丹波 桑田六区 船井五区 何鹿五区 天田五区

丹後 加佐七区 與謝九区 竹野六区 熊野三区

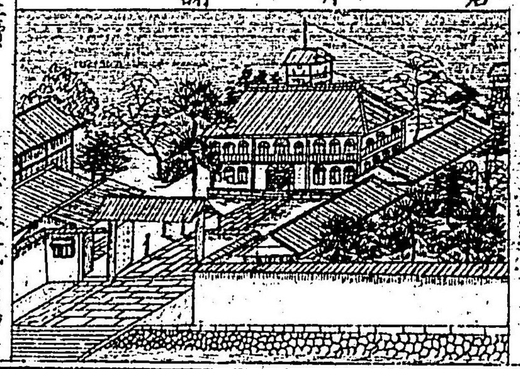
中四区

警察署 上京区上京区中立賣室町東入北側 下京区下京区五条大橋西詰河原二条下ル東入 建仁寺町松原上ル

各郡に出張あり

區役所 上京區役所中立賣西洞院東入南側 下京区役所五条富小路行当南側

此他各郡に在り



京都裁判所 上京区九太町富小路西入

明治五年十月七日より京都府内へ設置せられ同じく六年六月二十五日より有栖川舊邸へ移る尚今じく十三年七月七日現在の処へ移り十二日始る其通行口左の如し

地方裁判所 通行口北太町柳馬場東エ入南側

区裁判所 通行口竹屋町柳馬場東エ入北側

仝 囚人 通行口柳馬場竹屋町北エ入東側

三条大橋より名勝順回記

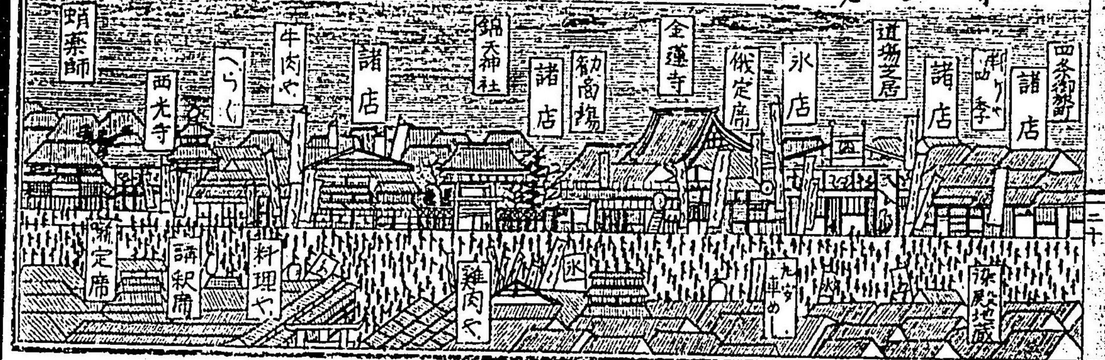
三条大橋ハ鴨川へ架し橋の東西へ旅籠屋數多

有何れも美麗なり橋の西詰を南へ行バ先斗町と云遊里あり橋の東詰を南へ行バ縄手通又大和大路と云青楼數多あり又四条より南へ建仁寺町と云大和街道あり四条へ至れバ八阪新地と云京師第一の撥所へ又三条橋の西へ小橋あり此橋の東詰を北へ行バ木屋町と云寄宿席貸料理亭等多し何れも鴨川の西岸なれバ清き流れへ山水の媚を添四時の觀賞ハ先斗町へ同じ

新京極通

三条より四条まで

此地ハ明治五年頃ニ寺町通乃東ニ道を作り三条より四条迄數箇寺の境内を開き一筋の街となして新京極と名くこの地ニ演劇浄瑠璃滑稽其他百般の聲曲觀場をはじめ時々乃興行物珎禽奇獸又ハ奥肉の酒店諸賈人我劣ちゞと新規を競ふて咫地を爭ふ幟挑灯ハ天を覆ひ明る一月の初より暮行年乃名残迄數萬の看客踵を繼ぐ



實ニ京都府第一の繁花の地と云べし。誓願寺。誠心院（俗ニ泉式部と云ひ輻輳の梅あり此梅ハ昔と東の洞院四条南ニあり しと何の世ニか此地ニ移しとるか）

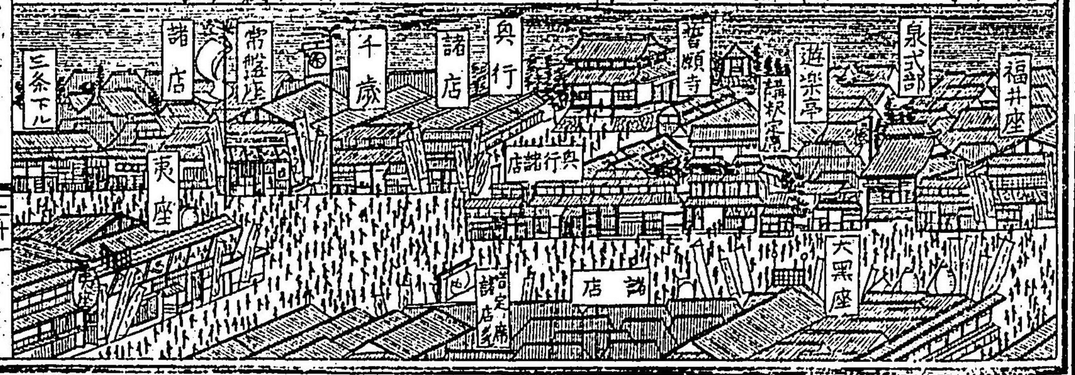
蛸薬師。圓福寺。錦天神社。金蓮寺（錦綾山と号 又道場と云）

深殿地藏尊。八阪神社旅所（四条寺町の東）

誓願寺

（新京極六角の行当りニあり）

浄土宗ニて深艸流義の一本寺なり本願ハ天智天皇開基ハ恵隠僧都創建なり元和州平城ニ在桓武天皇迁都乃後ニ上京元誓願寺通小川西ニ



うつに専貞法師源信僧都住に十餘世の後藏俊僧正法然上人法徳に帰入し浄土宗となる本尊阿弥陀如來御丈八尺坐像也○佛面に朱字の名号ハ天智天皇乃震筆○額ハ大學寺空性法親王乃筆○當寺の什物烟除佛舎利有○一休和尚筆其文に曰

傳聞法然活如來　安坐蓮上品臺
尼入道同愚癡輩　一枚起請文最奇哉
南无阿弥陀佛

此外法虚堂いらぬもの唯法然の一大事と存奉祭今日より浄土宗に成申候穴賢く

應仁二年二月五日

佛御所さゝ

誠心院

泉式部塔軒端乃梅古木有　昔願寺南

泉式部ハ越前守雅致が娘にして能和歌を以て世に鳴又美顔曼髯時乃人ハおれを慕ふ四十歳乃頃に尼ゐなり誠心院の小御堂ゐ塾して専未來の資粮を求むとなん

蛸薬師

新京極蛸薬師行当

蛸薬師ハ永福寺と号に舊地三条室町水上薬師と云ふ本尊薬師如來ハ御丈二尺の石像にして傳教大師の作あり古へ比叡山北谷にあり澤薬師の号ハこの地に澤あり是に依て都下人澤薬師と称せしを後世にいたり誤つて蛸薬師と云風俗せり○鯉地藏尊ハ境内にあり由來繁昌へ畧に

御縁日毎月七日十四日ハ参指人群をなん

圓福寺

大本山圓福寺ハ新京極通蛸薬師の南に在り本尊阿弥陀佛ハ法然上人の作仏也浄土宗深草流義の一本寺なり

錦天滿宮社

新京極通錦小路行当

祭所菅原道実公ゝ鳥居の額ハ青蓮院尊英法親王乃筆なり菅原道實公を祭るとなれ共此社ハ舊左大臣融公の住たまいし河原院ゑ在しを今の地ゑ移ス境内塩竈社ハ則ち融公の霊を祭なり中頃より天滿宮ヲ勧請しゆゑなり毎月廿五日ハ毎ゝ群参ス

金蓮寺

新京極通四条北

時宗なり俗ゑ四條道場と云寺内ゑ杜鵜乃松あり又この地ゑ演劇小屋あり是を道場のあむいと云○境内ゝ辨財天社あり○四條の出口ゝ染殿地藏尊あり

八坂神社御旅所

四条通寺町東

此地を御旅町と云ハ八坂神社御祭礼中御輿を此御旅所ゑ七日の間此所ゑ祭る諸人群参ス

大雲院

寺町四条南

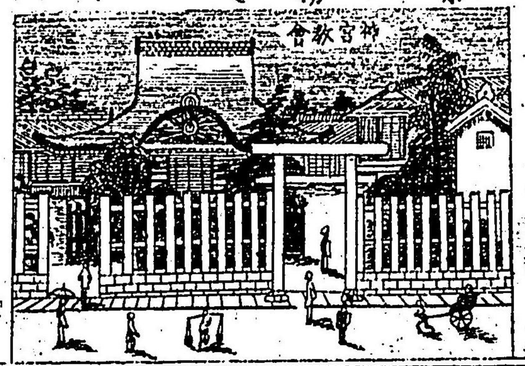
此寺ゝ石川五右エ門の墓あり

浄土宗中教院本尊阿弥陀如來貞安上人乃開基

神宮教會

寺町綾小路行当

此社ハ伊勢大神宮を祭る明治十四年の勧請なり都て皇大神宮の事務を取扱ひ神札も此処ゑて附与ス伊勢参宮の人々ハ此社へ指て出立する者多し



御影堂

五条通寺町西

新善光寺ゝ云天長年中檀林皇后乃建立なり開基ハ弘法大師也中興王和上人真言宗を改て時宗とあり本尊阿弥陀如來安阿弥乃作本尊ハ信濃國善光寺の如來を写し奉ルを本尊とする故ゑ

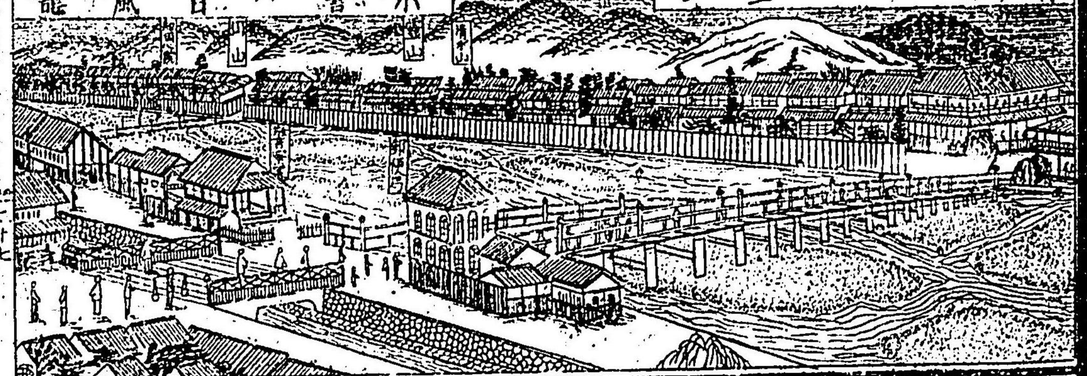
新善光寺又御影堂共号に本堂の南に地獄堂在ハ天正十五年此地に移す　坊中に扇を折て業とする事昔無官太夫平敦盛の室蓮華院尼公此寺に閑居し阿古女扇を製玉ふ

其頃後嵯峨帝御悩ましく時常寺住職佑寛阿闍梨御悩除滅の修法を加持又扇に咒文を封納して帝に上ると即ち天皇の御病気苦悩さとり給ふ御平癒おしくりゐる上人の号をおくりゐる扇ハこの古例より出て世に此所の名産となるなり

五條大橋

此橋の初ハ今乃松原通に在を則ち昔の五條通也豊臣秀吉公の御時今乃地に移る故に五條橋通と云慶長年中石を以て造其後改て木橋と成長さ七十四間幅四間一尺欄干ハ紫銅擬宝珠左右十六本有北の方西

より四本目に橋の銘有洛陽五条石橋を改正保二年乙酉十一月吉日奉行芦浦観音寺舜真小川藤左衛門尉正長此橋上の半より東を望めハ洛東の勝地を見る又此橋近時迄ハ蒲鉾きそ宏と称ス大橋小橋ハ一ツよりしゞ明治十一年より鉄橋に改修大橋小橋と二橋となり中洲に警察署郵便局を置小橋ハ高瀬川に廿七年二月八日擬宝珠成南に遊所有て風景甚よし○橋の東旅籠



屋有て繁花く○五条坂と云所有て陶器師數多陶器の精工究め最繁昌なり

蛭子神社

建仁寺松原北に在り

祭所ハ蛭子命栄西國師勧請仕ふ那り舊建仁寺境内の産沙とほ例祭ハ九月十六日あれども自今祭日違へり○毎年一月十日初蛭子又十日蛭子とも云十月廿日蛭子講と云仕長とう室町時京都の諸商人の参指人群集ほ

摩利支天

建仁寺南門内に在り

鎮守ほ名ハ摩利支天尊あり此尊ハ嘉暦二年と唐士より將來せし霊像あり應驗あらとすして常に諸人参詣する昼夜たへざるあり

建仁寺

大和大路四条南にあり

五山乃第三に位して開基千光國師葉上僧正建保三年七月五日寂ほ征夷將軍源頼家敷地を寄附し建仁三年伽藍造栄し勅願に依り年号を以

寺号建仁寺と云栄西國師宋の國より帰朝乃時携へ玉ひし菩提樹ハ當院内に今繁茂して融大臣と有数珠とある六条河原に殿舎を建玉ふ後に佛閣とふし河原院と号ほ此所にあり鐘也此鐘毎夜子の刻に数九十晨鐘に八十八撞合して百八撞なり昔し陀羅尼經讀誦して撞し故此鐘の音を称して建仁寺の陀羅尼の鐘と云也境内の南に池あり此南に中門あり此門矢立門号す蓋平家の一門門脇教盛卿乃舘の門を移す常に往來をきんぼ

愛宕寺

松原大和大路東ニ在リ

真言宗開基弘法大師本尊観世音又左右脇士ハ昆沙門天地蔵尊三像共千観内供作堂内ニ又地蔵尊を安置此像を火伏の地蔵と称し毎年旧正月二日御経讀誦して諸人へ火伏の札出に是を矢豹の宴と称ス

六波羅密寺

仝所東南 西国十七番札所

本尊十一面観世音立像御丈一丈空也上人作天暦五年疫癘流行て死る人数多有を空也上人是を憐玉ひ今の御本尊を作りと自身牽歩供にる典茶を疫病人に与玉へバ同と疫癘の病人平愈に

正月元王服茶を呑ハ年中の疫癘を免るゝ為なり本尊の北の方ニ地蔵尊南の方ニ薬師如来有傳教大師の作なり

弥皇寺六道

松原通六波羅密寺東

本尊薬師如来傳教大師作開基慶俊僧都中興弘法大師○篁堂ニハ小野篁の像を安置に俗ニ冥土へ行く通いふ○閻魔堂ハ東の方ニ在

安井金昆羅

松原通廣道の西北ノ入

祭る所ハ中央ニ崇徳天皇左座ニ金刀比羅右座ニ源三位頼政卿あり擁護の利生霊験あらと成常ニ参詣人とへに

駆微院

旧建仁寺地内花見小路四条南入

該院ハ都下の娼婦微毒ある者を治療する所ニ

祇園館

円所東入

此館ハ府下第一の演劇場ニて其形御殿造り

祇園館

歌舞練場 同所

哥舞三弦淨瑠璃喝物等を藝妓舞子等が研究する場にして例月三日の間温習會と称して哥舞をあに又博覽會中ハ五十人揃への衣裳にて都踊りと称して與行に甚だ美麗ん

女紅場 同所北にあり

明治六年三月より開場す此場ハ娼婦藝妓の入る教授場にして衣服縫裁押繪真綿績莫大小縫物等を習ふ所あり又券場と称し遊女藝妓舞子の取締所あり

製茶場 全所

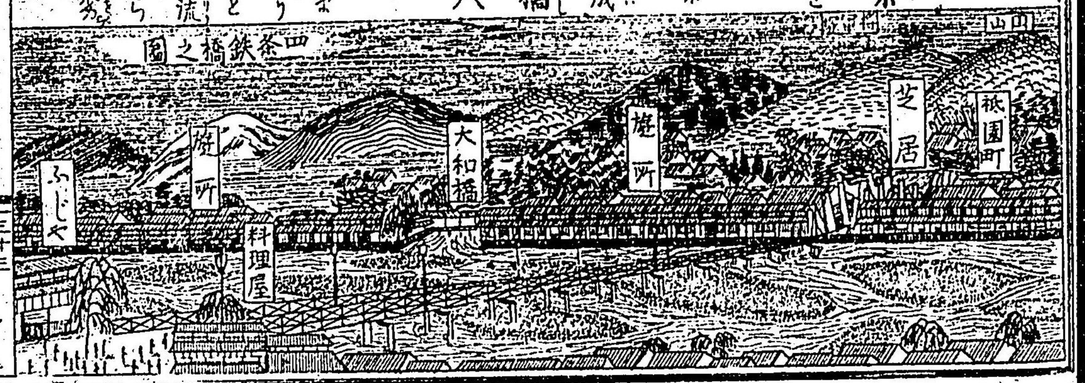
女紅場の分局にして茶園を設ル藝娼妓に茶を製ほうとを教ゆ

四條銕橋 四条通鴨川に架ほ

明治七年四月一日落成ほ此橋ハ鉄造にして橋の上に紅白の硝子燈ハ本を立殊に美麗なり

河原ゝ夕涼ミハ七月より始ゆ

り東西の青楼より川の辺に床を儲ふけ燈火ハ星のごとし河原に床机をつらねて流光に宴を催し雞鳴に至を知らに料店茶店其外の諸商人我劣じと盛んに実に盛大と云べし



四條演劇

四條通鴨川東

四條通錢橋乃東南側北側相連に永禄年中江州の國住人名古屋三左衛門と出雲國乃於くに と歌舞枝を始む舊時ハ北野の森又祇園南林又五條河原橋の南等に興行に豊臣秀吉公の命によつて今乃地に移す

○大和橋の辺に在古柳ハ往古豊臣秀吉公のとき堤坊のため所々に柳を植させとおふ大和大路通大和橋西に在老柳ハ往昔よりの柳にて繁茂せり其緑由記ハ此柳の物に住人鈴木氏方の古書記に被しと思へり

○祇園町北側に有名の井筒と云青楼あり表の庭に古石の井筒ありて呼るなり

○又一説と云る青楼有(万亭)此家に元禄年に赤穂の義士大石倉之助此家に遊興せしより其名世に著し例年三月二十日追善の記事今に絶へずと聞及ぶ

八坂神社 并に山鉾の訳

官幣中社八阪神社八舊祇園午頭天皇と称ほ社前の南楼門外に石の大鳥居有額ハ照高院道光親王筆御寄進祭処ハ素戔嗚命稲田姫八王子にして聖武天皇の御宇天平五年三月十八日吉備大臣唐土より帰朝の時播磨國廣峯と垂跡し玉ふを其後帝城守護の為貞観十年辻座し玉ふ

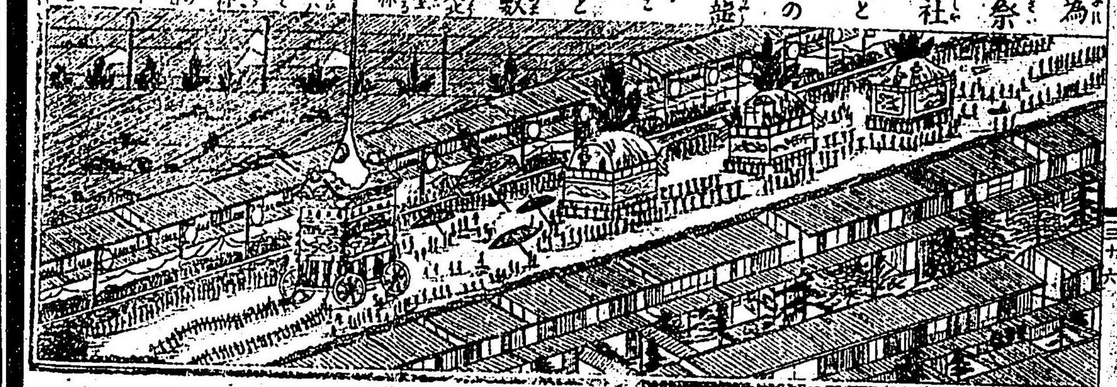
中臣祓に曰清和天皇貞観十八年疫神崇を形して世の人疾に悩事以の多し曩祖日良麿洛中の男女を将

おて十四日疫神送を為
例年也今八七月十七日神祭
二十四日
羌て山鉾出るあり木社
の下と池有又壺八有と
も云へり延久の頃梨木の
座主天台宗梶井御門主寶殿の下に掘
穴有とて其深を見と探こ
五十丈に及で底知れぬと
云
續古事談に見へより境内に末社數
多有本社の東山と四山と東北
智恩院南門に至り南禁
に至る

四山公園地

八坂神社境内北林

從來角力場錦天神境内或三条河原等にて
興行すを明治元年賊徒掃除
の際角力諸取以下力士と称する者
諸戰場へ出張の場より今三年
八坂北林の地を拝領す同三年八月
より此処にて興行に今公園地となる



智恩院

華頂山の麓に在

華頂山大谷寺と号に鎮
西派の総本寺にして法然
上人開基より建暦二年
入叡一玉ふ霊地にして
山内廣大より元禄十年円光大師を誕玉ふ
古ハ叡嶽の別院南禅院にして慈慧
大師草創の地なり夫より豆霜かさ
りて山門十二代の座主青蓮院
慈鎮和尚法然上人の弘法に隨信
一玉ふて此地を寄附一玉ふ昔ハ今
の四山と封境一面にして吉水と云
満譽和尚の代に至つて
台命を蒙り險阻を穿て
平坦と一今の如く伽藍
御建立有勝地なり
の額ハ霊元天皇の震筆
なり木堂の大谷寺の額

ハ後奈良院の震筆本堂
ニハ圓光大師の像を安置
ス勢至堂ハ山腹ニ在り勢
至仏を安置ス法然上人入
寂し玉ふ地ニ額ハ後柏原
院の震筆ニ鐘楼本堂の巽山腹ニあり
巨鐘ニして高さ一丈八尺直
九尺厚九寸五分響三里ニ達ス
○源空上人建暦二年正月
五日午刻法壽
八十歳にて遷化ー玉ふ是より毎年正月
十九日より一七日の間
大法會あり是を御忌と
称へて参詣する者最多
ー其頃山内の糸櫻浅黄
櫻開花と云
御忌の音楽の妙なる
ハ聖衆来迎の思ひより

圓山

東山八阪神社の東

時宗安養寺(山内左阿弥○正阿弥又○端之察○
也阿弥此外三軒有)客数乃書院より都下を一望ー雪
月の朝暮の絶景
他ニ比物自由ふり洛陽観延最第一の勝地也
山内ニ辨天の社
傍ニ吉水井あり○傳教大師開基也
國阿上人住職す○ふいと源照と云盲人住琵琶妙曲天聴ニ達ー
後小松帝の恩寵を蒙り紫衣を賜ふ是盲人紫衣の始めなり
又好所ニ應じて
歌舞技を呼
諸参會
往者を聚す

鑛泉

同処南ニ在り

明治六年癸酉九月開園セ浴室ハ總て西洋ニ模
ー三重の樓閣等を経營ー又前庭ハ泉石を畳ニ
義を盡せり
泉質ハ含容の実検を要するーのみーて天
造の温泉ニ勝れり諸人入泉ニ群集す

長楽寺

同所円山の南ニ在り温泉場あり

時宗也延暦十二年癸酉桓武天皇の勅命ニよつて傳教大
師創建セ安徳天皇御衣北幡ハ建禮門院歸洛の後ニ
誓上人へ御布施ニ給りー○温泉場ハ長楽寺の山内あり
天皇の御衣を幡ニ寸

明治廿五年三月造營ス

将軍塚

東山の嶺き長楽寺と智恩院の間の峯

延暦十三年今の京都ニ都を遷さるゝ時丈八尺鋳造の人像を作此山の嶺を塚とす 長楽寺円山智恩院の三方ニ道有登る事凡五丁計り連山を突出し洛北より西南を望て淀川と見渉し一毫も遮るものよし絶景比類ふし諸人遊覧多し

東大谷

長楽寺の南

東本願寺乃祖廟也

阿弥陀堂本尊ハ阿弥の親鸞聖人の廟

塔ハ後の山腹ニ築て墳上ふ虎石有 石の形虎ニ似たり此石初めハ開山聖人往生の地柳馬場押小路虎石町ニありしを秀吉公の御時伏水桃山の城中へひき寄せ玉ふ此石も其後桃山より今の大谷の地へ移さる、此虎石の縁由あんどん略に元禄年中ニ造営ありし

廟前の荘厳美麗ふ多し 大谷の名義ハ華頂山の旧号を以て名づく。此地ニも櫻樹多し弥生の比ハ貴賤群参ニ諸谷の頭ハ寂如上人の筆ニ。東流の水流ハ此処ニ約束ニ

雙林寺

下河原大谷の南鷲尾町

時宗至徳年中國阿上人開基ニ頓阿法師康頼入道も此所ニ閑居ニ西行庵芭蕉堂ありて文人雅客常ニ相集ふ後柏原天皇宸筆を染給ふ中興開山の縁記ハ世ニ聞申 此山内ハ円山同様ニ席貸料理等好ニ恋じ自由なり（文阿弥）

高台寺

下河原の東ニあり

慶長年中太閤秀吉公北乃政所御建立菩提所也古ハ雲居寺ニして自然居士住玉ふ宗旨禅中興三江和尚開基なり本尊釈迦如来方丈の唐門ハ秀吉公の船櫓也後比山服ニハ秀吉公北乃政所の御魂舎なり 方丈の唐門ハ先年焼失す今此門ふし境内ニ櫻萩多し遊人群をなす○

秋葉山

下河原

○遠江国秋葉山を此地ニ移すと云

近北双林寺東大谷より清水寺（本詰すると境内切通し新道をひらく）

七観音院

高堂寺前

真言宗本尊ハ七躰観世音ニて中尊ハ如意輪観世音坐像二尺弘法大師作左右ニハ○聖観音○千手○十一面○馬頭○不空○羂索 各一尺二寸 春日作

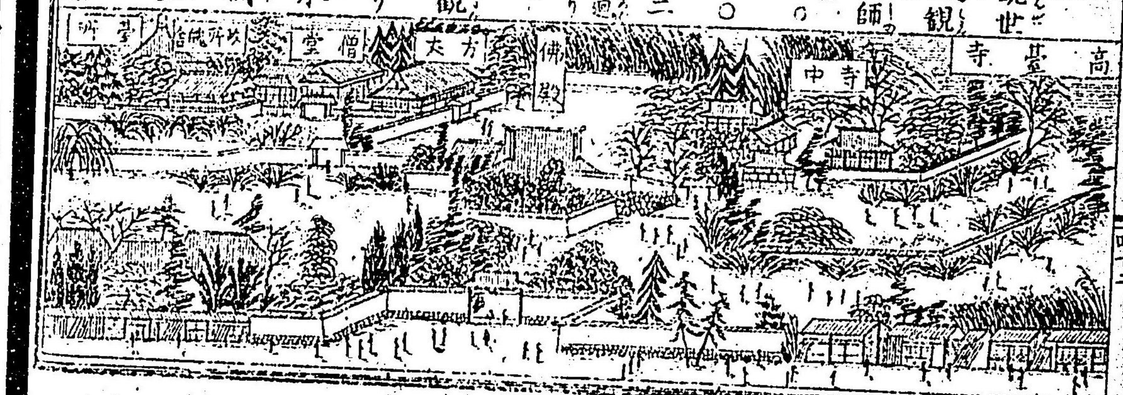
伽羅観音堂

高堂寺南門前

青龍寺と号ス本尊聖観世音御丈五尺立像ハ傳教大師の作伽羅の木を以て彫刻す脇士地蔵大菩薩毘沙門天王安置ス

春陽観音廻り の其一寺なり

○念仏石 金石鎖石 の北の一寺なり



八阪塔

全所高堂寺の南

法観寺と号す聖徳太子建立なり古ハ楼門伽監鎮守等有しゲ今ハ破壊して纔に五重塔のみ残れり本尊阿閦宝勝 大日釈迦 東太子堂北薬師 辨財天歓喜天○浄藏貴所此寺に存ス

庚申堂

同所少し西南

大黒山金剛寺延命院号本尊 青面金剛 御丈三尺寺 大宝元年正月七日庚申に降臨 日本三庚申北内ハ 外二赤玉ふ

根津四天王寺 聖徳太子 武蔵浅草寺 脇士 大黒天

霊鷲山正法寺

全所東山腹に有

霊山又國阿山とも云傳教大師開基中興國阿上人住ス玉ふより時宗に改む本堂ハ釈迦牟尼佛

阿弥陀堂本尊歯佛と号に　此本尊八笑の仏と云御口向歯見る故に世に歯仏とふ

天照大神社ハ本堂の東に有○木戸穴墓所有り

勤王戰死等の招魂墓數多有　毎年招魂の為とて神祭を行ハる

三年坂

同所庚申堂の東松原へ出る処より

八坂とゝふ　地名の次第○北ハ真葛原○南ハ清水坂まで惣地名あり其中に八つ乃坂有坂此名○祇園坂○長樂寺坂○下河原坂○法観寺坂○霊山坂○山の井坂○清水坂○三年坂又ハ産寧坂右八つを合して八坂と云ふ

真正寺大谷

同所霊山の南三年坂の北

霊山南の山に在　往古より西本願寺派に付今度別派となり　新に建立す

大日堂

清水坂北側

本尊大日如來洛陽十二社巡りの其一ケ所なり

子安観音

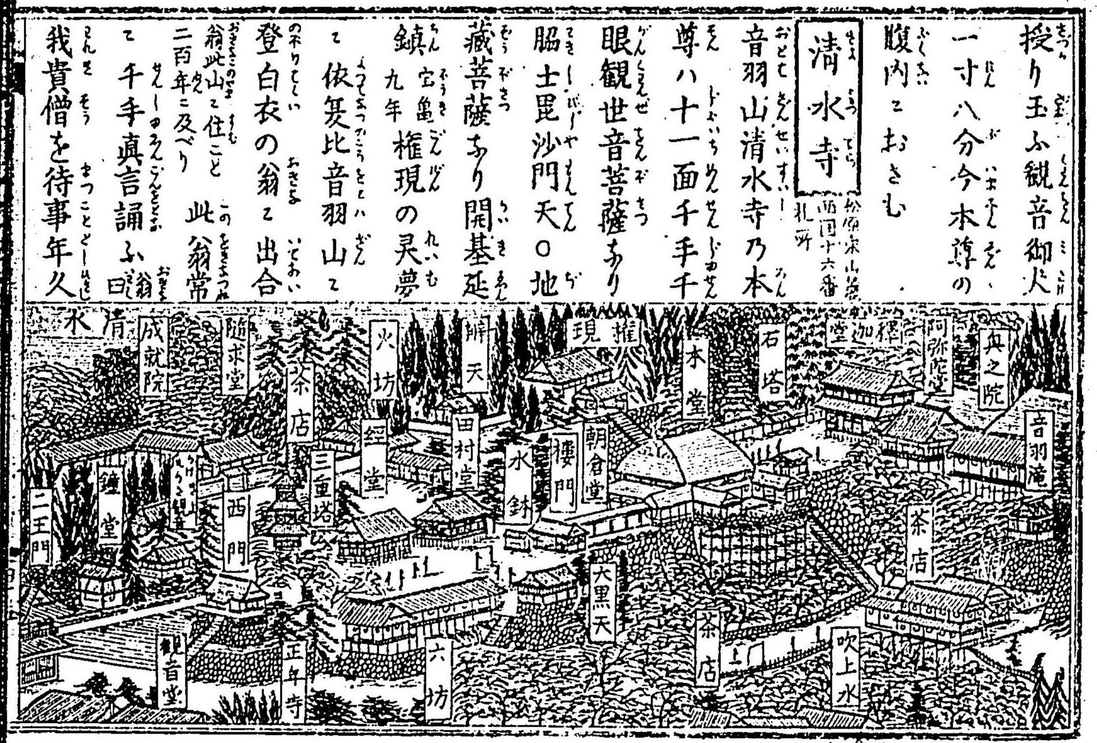
同所南側

光明皇后孝嫌帝を泰産し玉ふ時天照太神より授り玉ふ観音御尺一寸八分今本尊の腹内におさむ

清水寺

松原宋山慈恩寺　西国十六番札所

音羽山清水寺乃本尊ハ十一面千手千眼観世音菩薩なり脇士毘沙門天○地蔵菩薩あり開基延鎮宝亀九年　権現の夢に依て毘比音羽山に登白衣の翁に出合翁此山に住こと二百年に及べり　此翁常に千手真言誦ふ曰我貴僧を待事年久



延鎮と呉木を以て観音の像を作事をゑめーて白衣の翁空中に登り東國に至る其跡ゑれず

延鎮ハ翁のゑめせーことをつくり木尊を安置せことを常に是を願ひ思ひとへざること年久しく待居ゑれども我こ力たらに居とりけり

延暦十七年の比将軍田村麿産場のゑめこ鹿を獵んとして音羽山にこけ入延鎮の草庵に至り延鎮に出合

田村麿延鎮を見て只人にあらぬと思召さるゝ王へ延鎮曰我此地に来し時白衣の翁こ合翁ゑめ一宣事を語る

田村麿大悲の尊像安置する事を約ーて帰營せり其夜夢中こ十一人の僧来り霊木を以大悲像を作る御丈八尺十一面四十臂千手千眼の観世音を作て十一人工僧行方を知れずと思ふ夢覚て見るこ赫々と尊像容現ー玉ふ観世音目前こ在清水寺の本尊是也○田村麿延暦十二年詔りを受て東國夷人を征討ー玉時○観世音菩薩脇士毘沙門天地蔵菩薩等の三尊ハ彼戦場こ出現ー玉ふて勝利と成同二十四年田村麿大政官府の宣旨を蒙り勅願所と成堂塔建立し大同ー玉紫震殿を給ひ伽藍と

なーー観音寺を改清水寺と号せり

○奥の院本尊千手観世音立像ゑり　此地ハ延鎮法師草庵の跡より

○阿弥陀堂ハ瀧山寺と号に本尊阿弥陀佛像を安置　文治五年五月十五日法然上人瀧山堂こて不断常行念佛を開闢ー玉ふ今こ退轉ゑり

○朝倉堂ハ　越前国司朝倉彈正貞景公是を近立に

○田村堂ハ　将軍坂上田村麿の鈴鹿権現行叡延鎮聖徳太子等安置にるゑり

○泉水ハ　中門の西こあり霊泉地中より涌出ること今こ寒暑こ絶ることなし諸人の知ところゑり

○地主権現社ハ　大己貴命ちゑ又ハ田村将軍の霊とゑ但し当寺の縁起こ依れバ弘仁三年四月延鎮法師の奏にるこ依て田村麿の軍功を賞し其霊を祭らーむるとゑん○清水坂八坂那の産土神ーして例祭ハ四月九日より

○爪形観音ハ　本尊の一門恵比兵衛景清祈て千手観音の像を石こ彫ると云鼎灌の宇和尊ゑりの庵室こあり

○音羽の瀧ハ奥の院の南こ在り　本堂の左り石壇七十段を下れバ三筋の清水西の方こ落て四季増減ゑーー瀧の上こ不動明王を祭れり慈鏡和尚の歌

くりうくし乱て人を渡にゑよ清水寺の瀧の白糸

吹上水

同瀧の下こ在り

音羽瀧の流を以吹上水とす　此所茶店料理好こ庶じ夏日群集に

清閑寺

同所の南小松谷より良こ在此処を歌の中山といふ佐伯公行建立に本尊ハ菅原道実公の作

西本願寺火葬場

小松谷の後渋谷の南山腹にあり

昔火葬場所々に有を廢止明治十一年今の地を開諸宗共此地に送り火葬に行ふあり

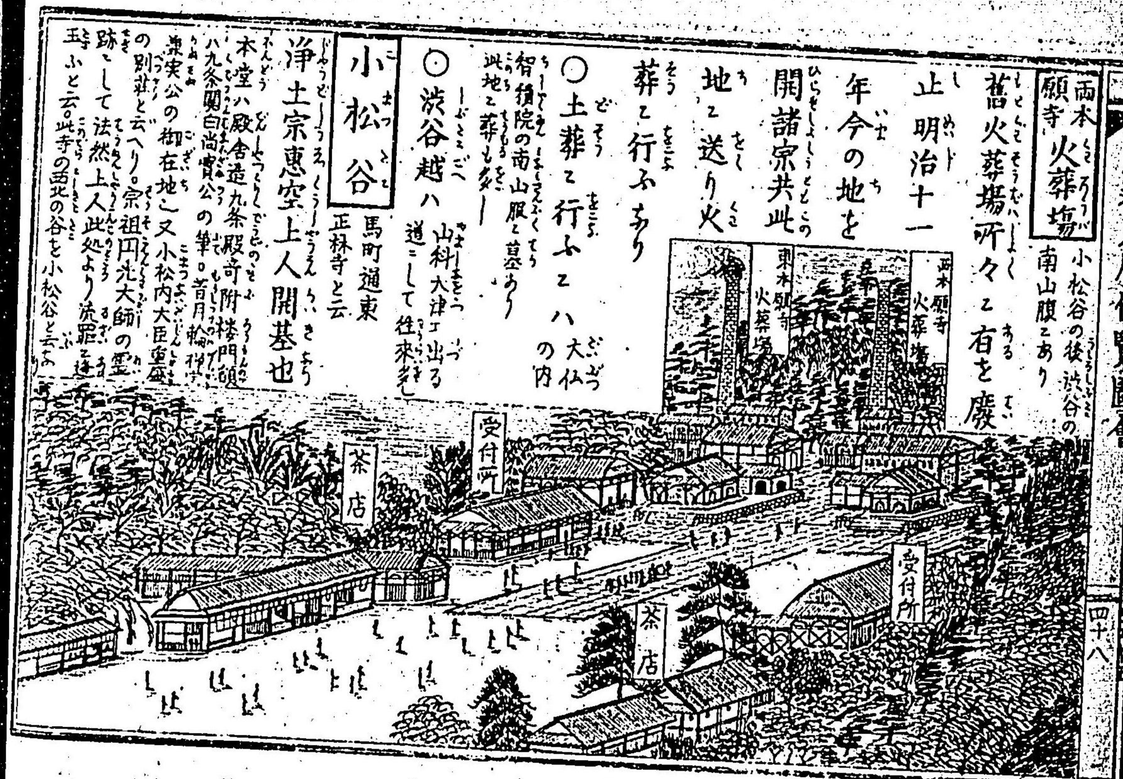
○土葬に行ふハ大仏の内智積院の南山腹に墓あり此地に葬も多し

○渋谷越ハ山科大津に出る道にして往來多し

小松谷

馬町通東正林寺と云

浄土宗恵空上人開基也本堂ハ殿舎造九条殿奇附楼門頭ハ九条関白尚實公の筆○首月輪摂実公の御在地に又小松内大臣重盛の別荘と云へり○宗祖円光大師の聖跡として法然上人此処より流罪遠玉ふと云此寺の西北の谷を小松谷と云



三嶋社

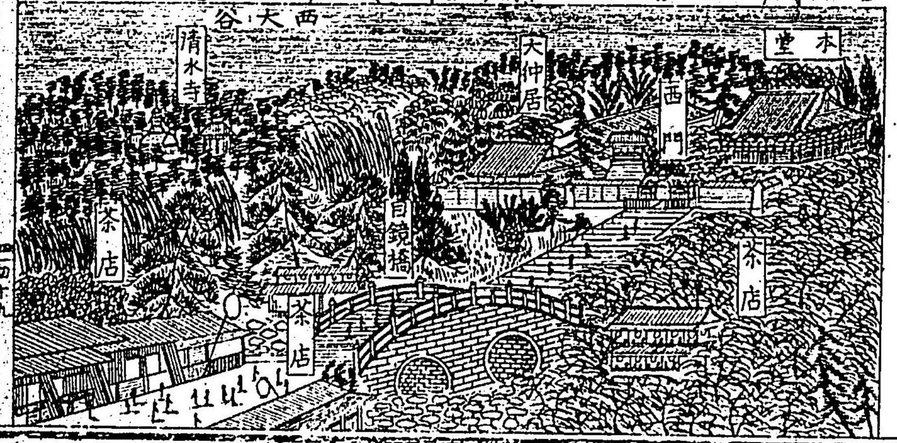
上馬町大仏北ノ門

当社ハ安産守護社にて氏子の者ハ一代鰹を禁じ此西に組信忠信の塚あり

西大谷

五条東鳥辺山

西本願寺廟所也当山ハ舊智恩院境内崇泰寺とありしが慶長年中今の地に移す号を以て大谷と称し當寺開山親鸞聖人傳記に曰鳥辺山の邊延仁寺へ葬由縁を以て此地に阿弥陀堂すなわち西面の堂内に掲る額の龍谷山ハ亥如上人の筆にて廟所ハ其東有明著堂額ハ同上人筆對面所の庭上西南ハ石藏あり堂寺什寶を藏む所○俗に是を富と云○鳥部山とハ後京極摂政良経公墓所あり此ハ西汲の門徒の納骨する所



新日吉社 大仏の地内

後白川院勧請なり

阿弥陀峯 同大仏山

此峯ハ豊臣秀吉公を葬る所なり

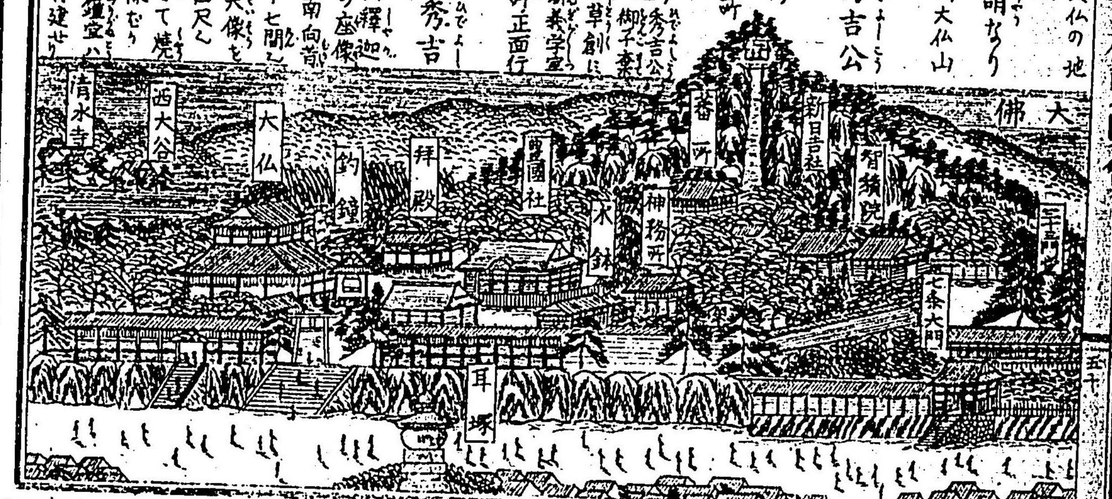
智積院 同所

真言宗新義也 秀吉公柳子薬師君早世の為に祥雲寺草創に改て智積院と号に新義学室

大佛方廣寺 同所正西行当

天正十四年豊臣秀吉公御建立 本尊ハ釋迦如来の座像御丈六丈三尺仏殿ハ南向前東西四十五間南北二十七間 楼門 金剛力士の大像を置く丈二丈四尺 寛政十三年七月雷火にて焼失す 見今大仏も半像なり

○ 釣鐘ハ 自今鐘堂ハ二度再建せり



豊國神社 伏見街正面東

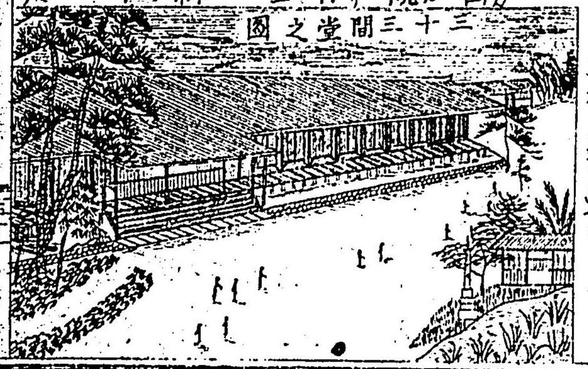
大仏の境内に在 別格官幣社 豊臣秀吉公を祭 慶長四年己亥四月豊國大明神の号を賜徳川の初代之を破却す 明治十年再私祭神幸を奥に今社ハ明治十三年建築す 後山阿弥陀峯 秀吉の墓あり

耳塚 同所の前正面通にあり

文禄元年朝鮮征罰の時数万人の敵兵を討取耳鼻切持帰り此処へ埋こしとゞ 実鼻塚として耳塚ハ非といへり

三十三間堂 同大仏境内南方

天台宗蓮花王院頭痛山平愈寺と号に後白川院頭痛平愈の為御建立有 堂八東向して南北六十六間あり二間毎に柱を立る故三十三間堂と云 本尊千手観世音座像御丈八尺 康慶の作 本尊左右に千佛を安置に堂後昔大矢数あり



泉涌寺

大仏の南今熊村

東福寺

弘法大師開基文徳帝御寺

寧衡三年左大臣諸嗣公再建中興開山俊芿法師なり

天台。真言。禪。律。四宗兼学。此地と靈泉湧出るを以泉涌寺と改し天子の御寺と成人皇八十六代四条院初て此寺へ葬り奉りしより代々の御廟所と成孝明天皇山陵前帝神主殿有

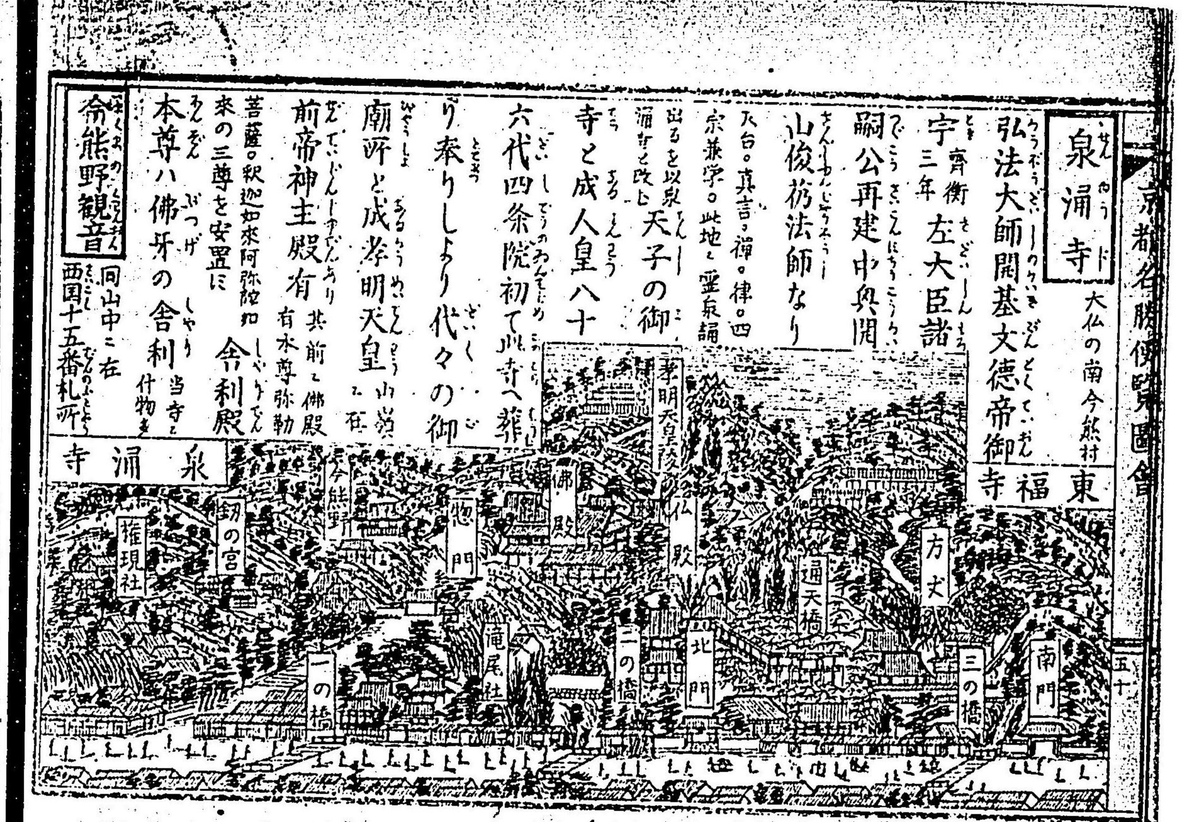
孝明天皇仏殿

有水尊弥勒菩薩。釈迦如來阿弥陀如來の三尊を安置に本尊ハ佛牙の舎利殿

舎利殿当寺と什物多

今熊野観音

同山中に在西国十五番札所



東福寺

伏見街道十五丁目

禪宗聖一國師開基建長七年乙卯九條道家公北創建也。涅槃像八兆殿司の筆さて火幅

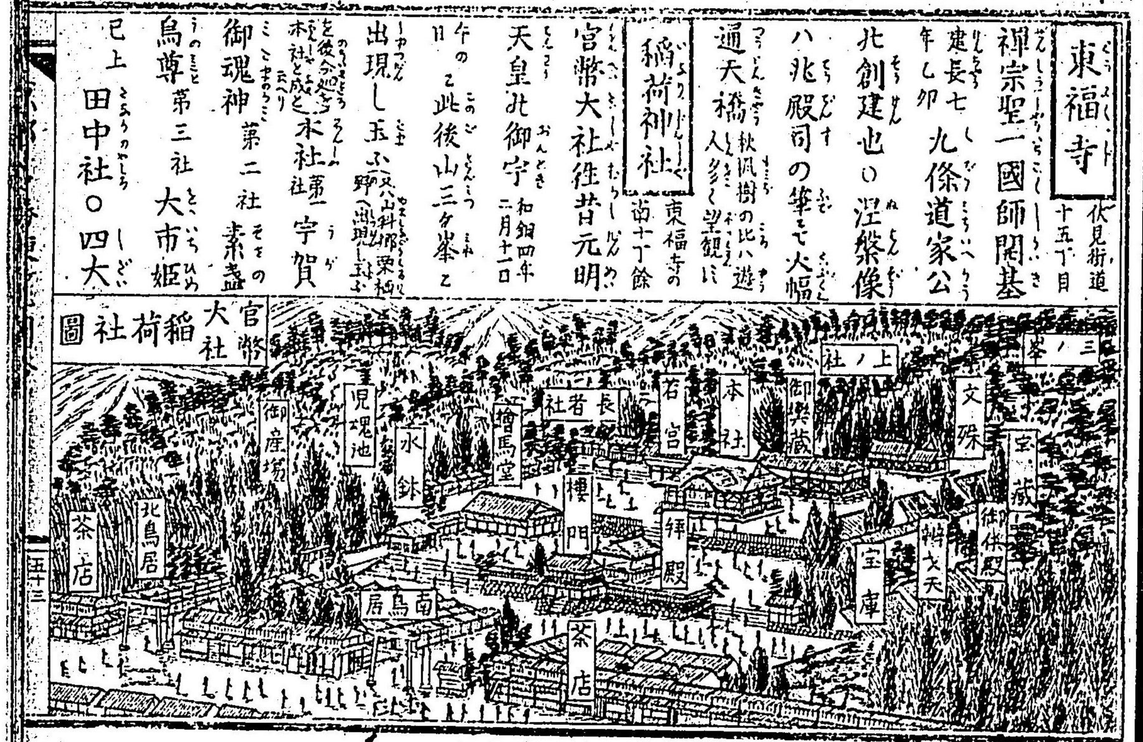
秋風樹の比八遊人多く望観に

通天橋

稲荷神社

東福寺の南十丁餘

宮幣大社往昔元明天皇北御宇和銅四年二月十一日午の刻此後山三ケ峯と出現し玉ふ又山科郡栗栖野(粟田)に後今の地に遷り本社と成る本社第一宇賀御魂神第二社素盞烏尊第三社大市姫已上田中社。四大

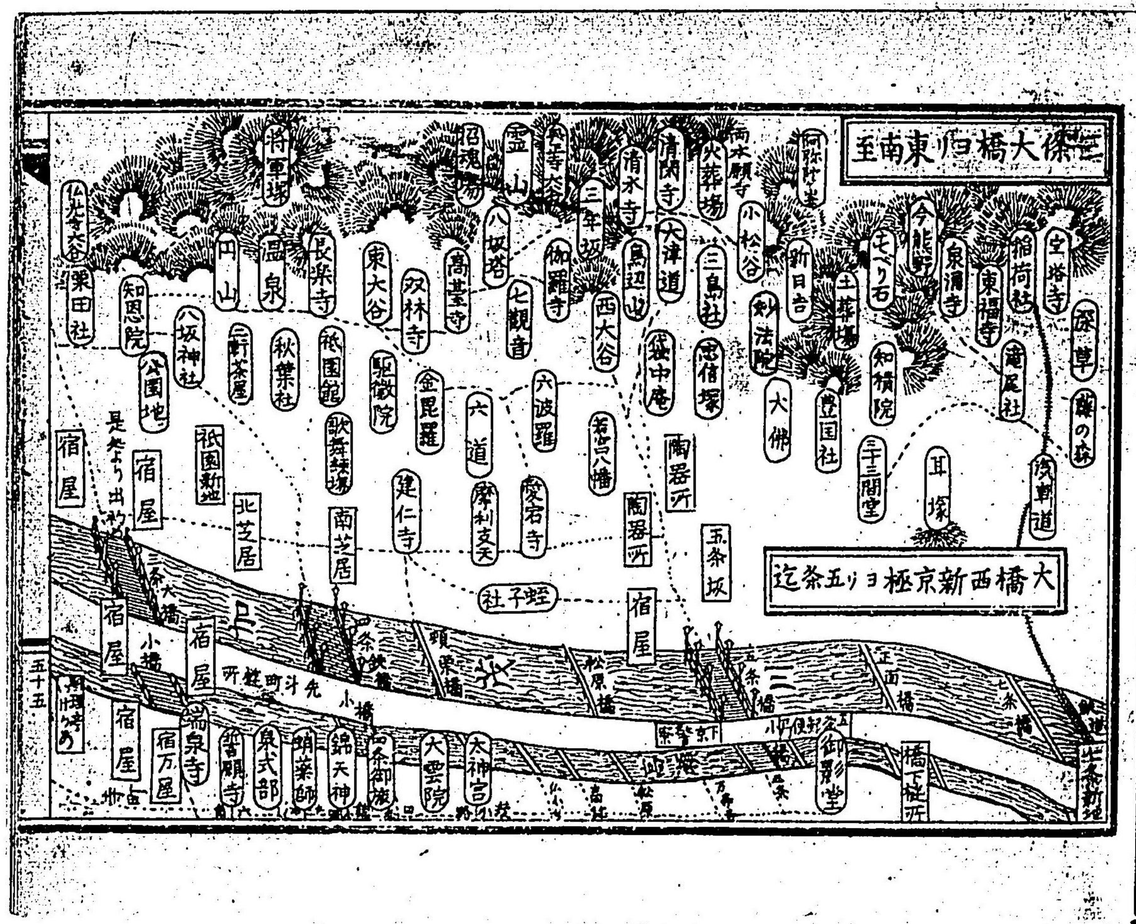


官幣大社稲荷社圖

神此二神共併せて五座と称に弘長三年に告有て祇中併奉ふ也補注遺　又曰田中社○客人神○大歳神ハ鶴と化して稲比實を含んで出現し玉ふ故と一切の鳥を畏ずる事を忌といふ○延喜八年故贈大政大臣藤原時平三箇の社を修造に永享十年社を三の峯に今の地に移す○上の社ハ宇賀御魂○伊弉諾○伊弉冊尊を崇奉ふ二月初午に参詣するハ和銅二月初の午中日に出現せしより恒例の祭事となり群集に此日土人形を土産とに古ハ神木の杉の木枝を折て持帰り我家に收めしそ

○三北峯の御注連張ハ毎年旧正月五日より一ゲ自今一月といふことより

○例祭ハ旧四月上の卯乃日也自今八五月より神輿五基共九条村御旅所と居まにを東寺南門を撞入金堂前に神輿伐す（ほり産子より神供頭に戴て持運び献ず僧侶代る々法施し東寺の寺務僧正を始一山の衆僧ハ東西に列し弦召ハ東の方に警に共厳重とる粧ひ他に為らぬ安永三年甲午より祭礼再興有列の首ハ勅裁綸旨なり


三條大橋より東南至
大橋西新京極より五条迄
空塔寺
深草
藤の森
稲荷社
東福寺
竜頭社
陵軍道
泉涌寺
今熊野
七ぐり石
土葬場
知恩院
三十三間堂
耳塚
大佛
豊国社
新日吉
剣法院
小松谷
阿弥陀峯
火葬場
高本願寺
三島社
忠信塚
清閑寺
大津道
清水寺
鳥辺山
祇園中庵
三年坂
西大谷
若宮八幡
陶器所
陶器所
玉条坂
宿屋
宝山
八坂塔
七観音
六波羅
六道
摩利支天
慶右寺
建仁寺
金毘羅
駆徹院
双林寺
東大谷
高台寺
召魂場
蛭子社
頭巾橋
松原橋
正面橋
七条橋
小橋
四条橋
三条橋
二条大橋
御影堂
橋下従所
大神宮
大雲院
四条御旅
錦天神
明楽館
泉式部
誓願寺
泉涌寺
宿万屋
宿屋
宿屋
宿

寶塔寺　伏水街道稲荷の南

法華宗釈迦多宝二尊　七面社○七面の滝有　参詣多し

深草瑞光寺　宇治寺の南極楽寺村

本尊釈迦仏此仏胎中に玉臓六腑有人の開基なり　明暦元年元政上

伏水墨染の北藤の森町に在

藤の森神社

郷社崇道盡敬皇帝○崇道天皇○伊豫新王を祭

例祭舊五月五日　蒙古退治の遺風とて　氏子鎧を着し　走馬の武者出る

境内に旗塚○蒙古の塚有　此南に社寺多数あり

是より東北社寺名勝の部

檀王法林寺　三条通大橋東詰

古悟真寺と号道光法師建立　慶長年中に衰廃し　慶長年中上人再建し　檀王院と号に　今畧して檀王と云

頂妙寺　檀王の二王門川端東入

日蓮宗一致派開基日祝上人なり

粟田社　三条白河橋東三丁目

本殿八感神院新宮也例祭旧九月十五日なり

佛光寺大谷　三条白川橋粟田社の東

阿弥陀堂明和年中再建に廟堂に親鸞聖人畫像を安置に

南禅寺　愛宕郡南禅寺町

三条日の岡の北（駒ケ滝あり

舊亀山法皇の離宮成しを

開山大明國師に賜ふ山門

藤堂高虎の建立山門の前

大石燈籠有佐久間大

膳亮の寄附に　禅宗にて金堂に入るにはスイッチラインとて弁慶上下する機械　南禅寺の北東

永観堂

禅林寺号に浄土宗清和天

皇の勅願にして真紹僧都の

創建也中興永観律師阿弥陀仏に永観律師来るを待兼給ひて　永観をそしと見たり玉ふ故に観の字

尊と号に堂下に鶯の池あり此辺に楓樹多し

若王寺　永観堂の北

舊天台宗にて修験道を兼職し聖護院に属に後

白川法皇の勧請なり本社熊野三社若一王子を鎮

座に那智山同木十一面観世音安置に　洛陽観音廻の寺　雖新後八塁寺神社

後山と滝有楓樹有避暑紅葉群をなす

光雲寺

若王寺の北

禪宗にて南禪寺天授庵英仲和尚再興に釈迦如來を安置に或時昊空晴霽雲空に映しると時の帝感覚有て大場成了感ず玉い東福門院より此寺を御造立あり。瑪瑙石の手洗鉢有

鹿谷法然寺

光雲寺の北東

浄土律宗を兼る万無和尚開基と諸方より施我鬼を頼く。談合谷ハ昔大納言成親判官康頼俊寛等此所にて密會一平家を亡ぼさんと謀を企てたりと云

銀閣寺

同郡浄土寺村鹿ヶ谷の北

禪宗慈照寺と号に足利義政の別業く公死て寺とに夢窓國師の開基庭中と銀閣樓有泉石の風景佳美く後の山を如意ヶ嶽と云し大文字を火にるく例年八月十六日の夜送り火と称

黒谷

同岡崎村と在

紫雲山金戒光明寺云浄土宗にて圓光大師開基也本尊四光大師を安置山上の三重の塔ハ大珠菩薩を安に日本三文殊の一あり。

黒谷の郡真實の鎧掛の松有黒谷堂ゑり　又紫雲石有無官太夫敦盛。黒谷禪生坊の面塔あり

真如堂

愛宕郡浄土寺村

真正極樂寺天台宗開基ハ戒筭上人本尊阿弥陀佛立像慈覚大師作正暦三年壬辰三条院の皇大后離宮を捨て是寺を創建有。後醍醐天皇御寄附ゑ佛舎利あり

吉田神社

愛宕郡吉田村

神樂岡称に官幣中社。武甕槌神經津主神天兒屋命を祭。摂社日本神祇三千座十二座を勧請に仁壽元年の創建也當社の大額ハ嵯峨帝御震筆小額後土御門帝御震筆ゑり

此山下に第高等中学校あり洋館にて頗る美校ゑり

百万遍

仝郡田中村

長德山智恩寺号に浄土宗鎮西派本寺也本尊釈迦仏慈覚大師の草創ニ本堂ニ元祖大師像安置ス。堂前の石碑ハ小松内府重盛公寛文年中今の地移

干菜寺

同郡田中村

光福寺号豊臣秀吉公ヨリ干菜を献しとり此寺号と賜ふ

下加茂神社

仝郡下鴨村

鴨川ニ添ふ

官幣大社多々須玉依毗賣大山咋神を祭る又角身命あり芸境内ニ河合社柊木社此社の周囲ニ諸木を植へれハ安し柊ニ化ス

紅の森ヨリ井上社有ル多々あり赤泉而出る是を紅川の水源と云ふ

上加茂神社

仝上加茂村

官幣大社加茂別雷神社

と号に別雷命を祭欽明帝此御宇始て神祀四月十五日五月競馬式六月卅日七月一日神能あり楼門前ヨリ斤岡社有

御菩薩池

愛宕郡三モロ村

大池有傍ニ地蔵堂あり小野篁の作参詣人も多ク

りしが明治維新の後寺町鞍馬口へ移せり

妙泉寺

同郡松ケ崎村

○日蓮宗ニて傍ニ大黒天あり甲子ニハ都参す又後山ハ例年八月十日ニ妙法の字ニ点火ス

山花平八

川端通山花村

此処ハ川魚自由ニして有名の料理屋ヨリ

御蔭社

高野川ノ東

下鴨皇太神宮降臨乃地ヨリ

赤山社

同郡修学院村の北

此社ハ天台宗の護法神也

赤山ニハ震旦の山の名ヨリ

修学院

愛宕郡修学院村

御茶屋云往古寺有しが中古寺を廃止て村名ニ残れり後水尾天皇の時離宮を創営ス林泉風景筆紙ニ尽しがたし

比叡山寺院

山城近江の国界に在り

延暦寺一乗止観院

八本朝五岳の一つ

ふして王城鬼門ふ

當れハ艮峰共号す

日枝山と書しハ祖武天皇の御宇延暦年中傳教大師を叡慮をし帝都鎮護として根本中堂伽藍営し玉ふより比叡山と文字改まる

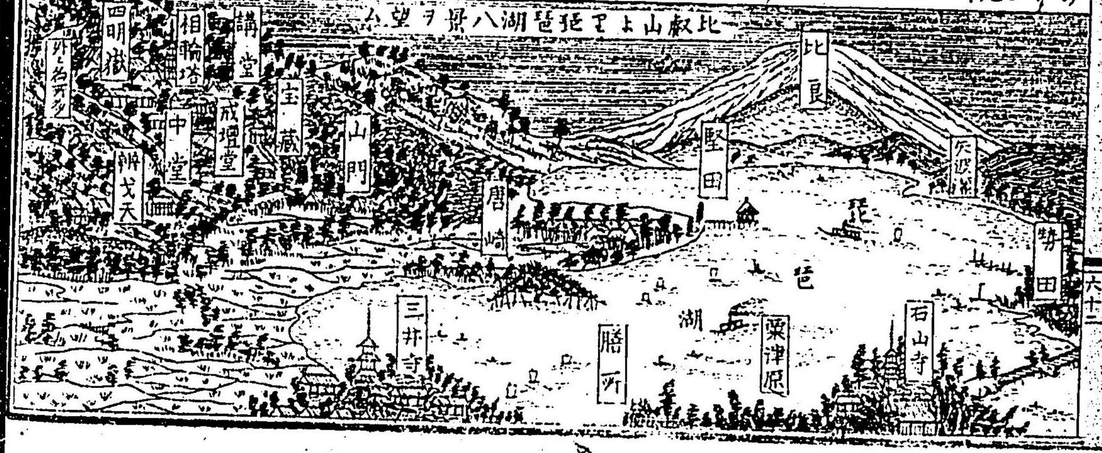
此山北南を

無動寺谷と云十二防あり

辨財天伐鎮座に

日ハ参詣多し

幕府の時ハ女人禁制ニて四月八日のミ花摘と唱登山を免せしが一新後ハ平日女人参詣出来ふり○無動寺峠より近江国琵琶湖を眺下見る事共風景ハ最も八景に及竹生嶋ハ西国三十番札所石山寺十三番○三井寺十四番より○唐崎自大津渡三五丁



三宅八幡社

愛宕郡高野の北に在

此社ハ児人虫一切に神妙有故諸人参詣多し

當社の南に寺社有共略に○

詩仙堂○八瀬天神○江文社寂光寺○阿弥陀寺○勝林寺

魚山小原寺○極楽寺○北岩倉○禅蓮華寺○來迎院○無音滝○

縁由あれども皆遠路故常に参詣せざると云

右等も

大悲山

愛宕郡大布施村

峰定寺号天台宗より

境内に乳石あり象平らにして石の乳ぶさ十四有悲く乳の如く水いづるく

是も北西の社寺名勝乃部

鞍馬寺

愛宕郡鞍馬山

天台宗藤原伊勢人創建本尊毘沙門天

例年六月廿日当所の僧俗人集りて竹切の式あり

年一月初寅の日に諸人群参に

貴船神社

愛宕郡貴船村鞍馬より西に当る

官幣中社水神罔象女神を祭

此社ハ雨を祈るに験し有又龍王の滝あり

岩屋山

愛宕郡出谷村の北とあり

金峰寺と云真言宗本尊不動明王空海上人の作

額ハ後奈良天皇震筆○

桟敷社○帷喬社○笠社○道風社○不動石○檀林○光悦院○薬師山○王傳寺○初言院○大宮林○宗林院○妙蓮寺○

右等の社寺名所皆縁由あれども常に参詣するを以て縁記を畧に

建勲神社

愛宕郡船岡山大宮の北

別格官幣社祭所ハ織田信長公也維新後鎮座

今宮神社

愛宕郡紫竹大門村

祭所ハ素戔嗚尊稲田姫なり 長保二年五月創建也例年五月十五日

私祭堀川以西二条以北の産土神なりに○又四月十五日御祭とて西加茂上野辺の里人大刀をとりなげ鉦鼓を鳴し一種風雅の祭式あり此を夜須礼祭と云

妙顕寺

寺の内小川

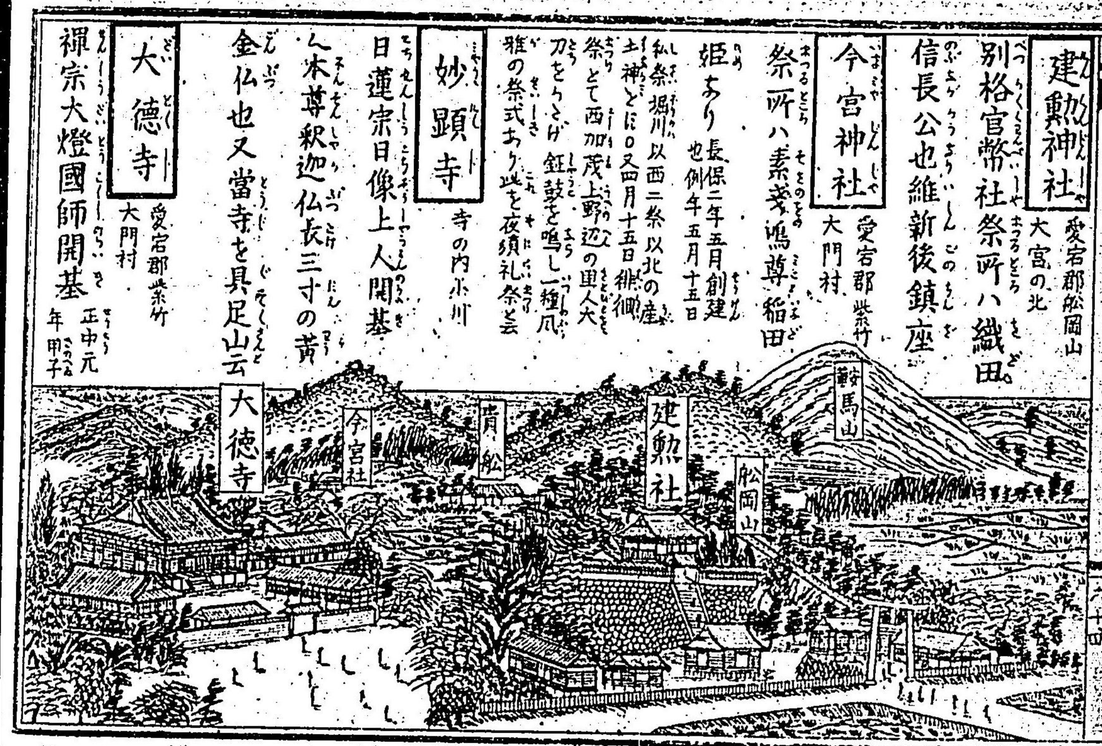
日蓮宗日像上人開基

本尊釈迦仏長三寸の黄金仏也又當寺を具足山云

大徳寺

愛宕郡紫竹大門村

禅宗大燈國師開基 正中元年甲子



創建也 赤松四心伽藍山門 蓮野師宗長○閣ハ千利休の寄附也○寺中真珠庵ハ一休和尚住居の地当寺遺物多し

是より西社寺名勝

閻魔堂

千本道寺ノ内

引接寺号真言宗 尊ハ閻魔大王○文禄年中に如意上人大念仏狂言を始るなり

北野神社

今出川の西北野の森

官幣中社 菅原道真公天暦の霊を祭る 左京七条文子の勧請也 天徳三年 右大臣師輔公造營に今の社ハ豊臣秀頼再建 当社豊臣秀吉茶の湯の跡あり又加藤清正の寄附の大鏡あり

官祭八月四日

私祭十月 晋神幸

金閣寺

平野神社

葛野郡小北山村 北野社より西に在三丁

官幣大社祀処○今木神○久度神○古開神○姫神あり 四月二日 官祭也境内櫻多し花の頃ハ群遊に○本社の東に紙屋川有夏に至れバ夕涼みとて諸人此所へ行もの多しと云

金閣寺

愛宕郡大北山村 平野より西北に当る八丁

鹿苑寺号禪宗開基夢窓國師に應永年中足利義満公山荘を寺とに三重の全閣三間四方柿木一枚板葺山林泉石等近来悪し有名なり洛西第一の勝地也此西に衣笠山有

等持院

葛野郡衣笠山の麓にあり

禪宗開基ハ夢窓國師足利家累代の木像を安置

龍安寺

月等持院の西に在

禪宗開基義天和尚本尊釈迦佛文明年中細川勝元乃舘也厳冬の頃池に鴛鴦来り集る勝地に堂内天井の画ハ兆殿司の筆今の方丈ハ勝元の書院に明治九年火内の西方を開き火葬場を設し

妙心寺

竜安寺の南下立賣通花園村に在り

正法山云本尊釈迦佛開基開山國師禪宗にして花園天皇創建に萬里小路藤房公遁世して此寺に入

仁和寺

葛野郡御室

御室と号に真言宗光孝天皇の創建也金堂本尊阿弥陀佛脇士観世音菩薩勢至菩薩祖師堂弘法大師像自作あり宽平法皇の愛翠安置し○五重塔。九軒明神。山上に四国八十八ケ処の写し八十八ケ処出来とり境内櫻多し弥生比ハ群集

三寶寺

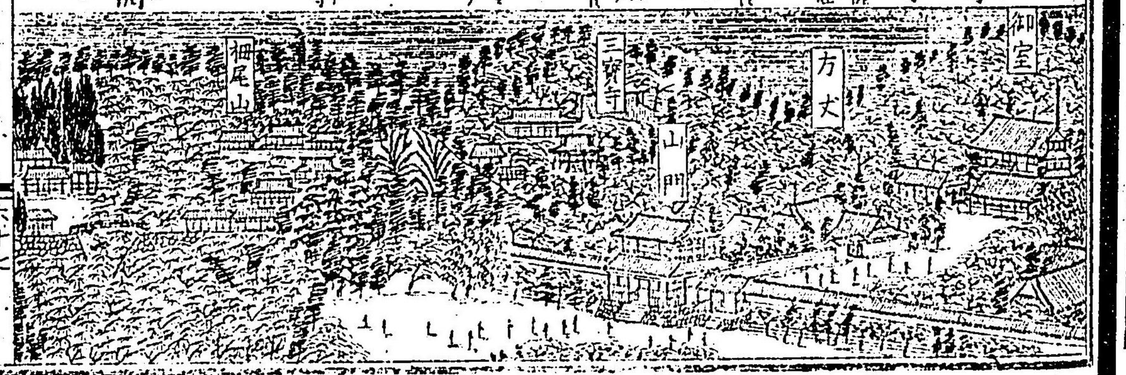
葛野郡嵯峨

日蓮宗本堂ハ釈迦佛ハ山上に南向開山日護上人あり此辺に妙光寺。法藏寺。般若寺。平岡八幡。善明寺右の諸寺ハ皆縁記を略に

栂尾山高山寺

全郡栂尾村

華厳宗本尊釈迦如来開基明恵上人秋ハ楓紅葉として縦覧人多し



槙尾山平等院

葛野郡槙尾山

眞言律宗兼開基智泉法師本尊釈迦仏 明意上人作 此所紅葉多

高雄山

同郡中島村

初神願寺云を神護寺改め眞言宗成金堂薬師講堂五大尊 共に弘法大師の作 光仁帝御宇和気清麿建立に云長敕して金剛寺の額を空海和尚に賜る 額を空海こ書し む 清滝川の向より 空海ハ金剛定寺と書玉へハ文字頓て現る 額書石ハ楼門の傍こ有 楼門の額ハ仁和寺覚親法親王筆 鐘の銘ハ菅原是善序 楼蔵相撲ハ藤原の敏行是を世こ三絶と号に 本朝の名器こして並ぶ者なし 文筆を好む人ハ此鐘の銘を摺て重宝こする者多し 此処ハ紅葉の名所 別格官幣護王神社ハ和気清麿の霊を祀れり 当時烏丸上長者町へ祀れり

三条大橋ヨリ東北西の名勝

月輪寺

葛野郡愛宕山の山腹と在

鎌倉山号本尊十一面観世音 祖師堂ハ空也上人親鸞聖人月輪殿下像と安置に

開基慶俊法師 中興九條関白兼實公 此地に閑居し玉ふ故月輪禅定と称に

龍女水 清水湧出故龍女水と云 堂前に時雨櫻有 常に後より霖雨を下す其地廻何も温る

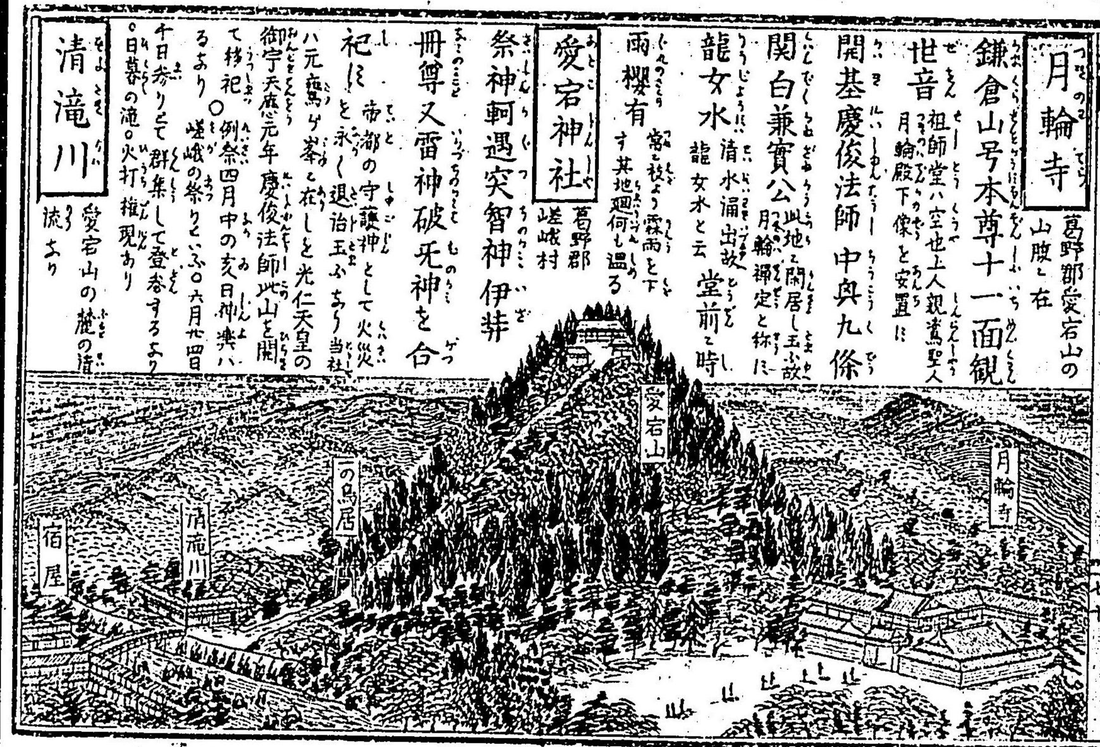
愛宕神社

葛野郡嵯峨村

祭神軻遇突智神 伊弉冊尊又雷神破无神を合祀に 帝都の守護神として火災ハ元亀ゲ年を在しを光仁天皇の御宇天應元年慶俊法師此山を開て移祀○嵯峨の祭りといふ○六月廿四日例祭四月中の亥日神輿ハ千日参りそ群集して登参するより○日暮の滝○火打権現あり

清滝川

愛宕山の麓の清流より



此流の水源 小野より流れ大堰川に落入る此谷より愛宕山(第)

愛宕山一の鳥居より左へ五十丁 清和天皇陵四所権現社あり

水の尾

愛宕山の麓上嵯峨

三寶寺

木尊阿弥陀仏 庵口入道横笛の像を安置に

二尊院

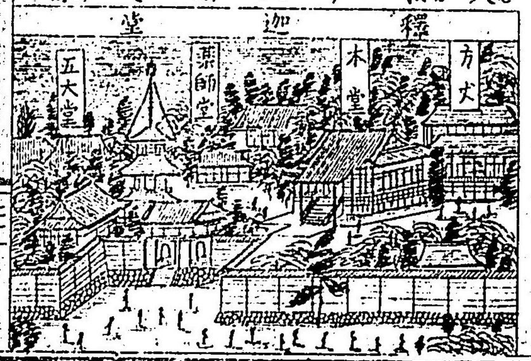
日一所

小倉山と号 大合 真言宗の兼学也 木尊釈迦如來阿弥陀仏の二像を安置に念仏堂に法然上人足曳の影像を安置に中門の額ハ後奈良院の震筆に

釋迦堂

同処 五葉山清涼寺と号に

木尊大聖釈迦仏の像ハ天竺國に於て釈迦在世時赤栴檀の香木を以毘首羯广の作に 此尊像ハ三國一無双の霊仏 一條天皇の御宇南都東大寺僧周然渡唐の時此像を得て 堂 飯朝に脇士八十大弟子立像



大覚寺

葛野郡山嵯峨

真言宗仏殿ニ五大尊を安置ス弘法大師の作ム

天龍寺

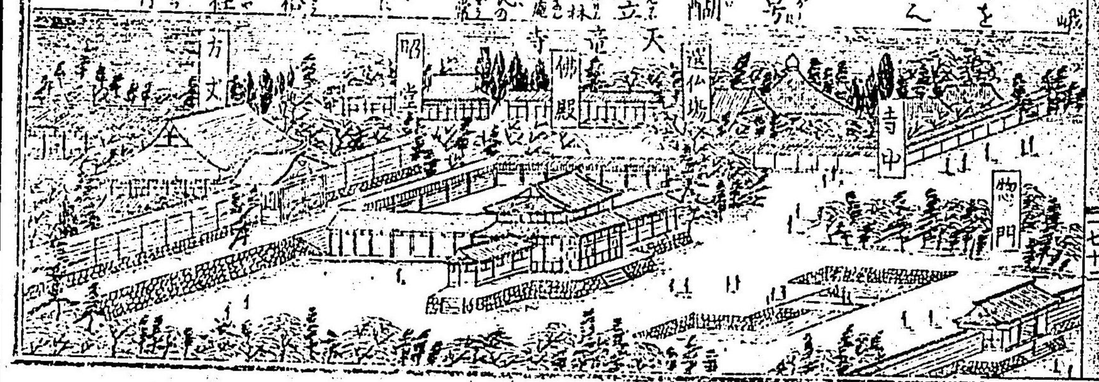
同下嵯峨

霊亀山天龍資聖禪寺号開基夢窓國師ニ暦応三年後醍醐天皇追福為足利尊氏建立也。

往生院。化野。妓王寺。櫛林寺。長明神。西行法師の庵。京極定家卿。鳥家卿の墓。大沢の池。廣沢池。遍照寺。野々宮。常寂寺。芋川。歌結橋。亀甲山。右等の諸寺の縁記あれども略ニ

嵯峨十勝

獻岳晴雪。雖瀬飛瀑。遍照孤松。愛宕雲樹。五畳長鐘。幡山霊社。嵐嶺白櫻。仙翁麥隈。亀緒落月。雄藏紅楓



嵐山

同所

嵐山和福山法輪寺有真言宗本尊虚空藏菩薩ハ道昌法師作脇士明星天。両宝童子。天平年中建立ス。幼童男女共十三参りとて旧三月十三日堺京坂地より参詣す

亀山院御覧ありしより名所と成

大堰川ハ丹波保津川の流嵐山ニて清滝川と合ス

谷社ハ嵐山の麓ニ在松尾七社の内

千鳥淵坐禪石ハ夢窓国師坐禪一玉ノ石

閣麓を七十斗西へ行ハ城跡細川政元家臣香西又四郎築処

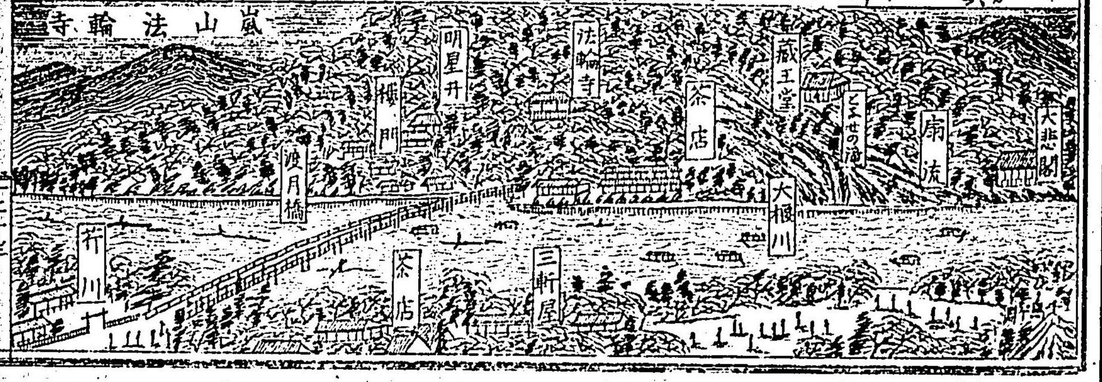
嵐山の風景ハ都下第一也

春ハ櫻花咲乱杜鵑花ニ嵐峡の名あり

避暑ハ角を設て螢火の光を燈を消す

秋ハ紅葉を賞して夕陽を忘れ

雪の旦ハ車輪を飛して雅俗之ニ集ふて遊観ニ麓ニ温泉場有



小督櫻　大堰川北三軒茶屋の前に在

西行櫻　法林寺の南西行法師住居し櫻元庵と号に此他霊亀山地川寺鹿王院亀折社有栖川。嵯峨社。安堵橋常盤社。大堰川の鮎釣等

太秦廣隆寺

二条通の西太秦村

推古天皇十二年八月　大和國斑鳩宮にて聖徳太子秦川勝に命じ当寺を建立せしめ百濟國獻る仏像を安置本尊薬師仏太子堂六聖徳太子の像を安置に毎年九月十日夜戌の刻祭例あり名を牛あうと云

木嶋社

太秦の東天照御魂神祭る

梅宮神社

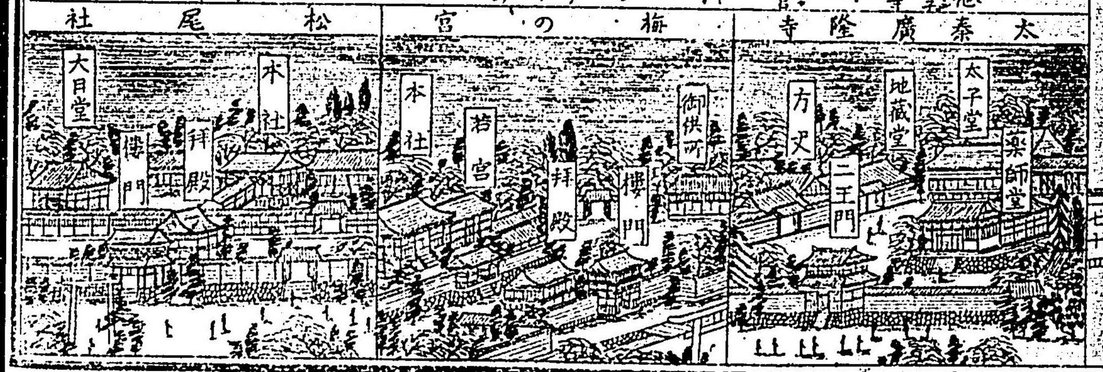
仝西梅津村

祀所酒解神大若子神小若子神酒鮮子神等也皇后当社の砂を敷て仁明天皇を産玉ひしより今に安産を祈願す

松尾神社

仝上山田村

官幣大社



大山咋神市杵嶋姫神　大宝元年創建　当社の神を酒造の神と祭り酒造家此社を奉崇し祭日八月上酉の日

松尾七社の祭神有　月讀社。樗谷社。三宮。当本社。宗像社。衣手社。四大神。等の社

月讀社

松尾社より二丁南

仁和三年疫癘大に流行して死る者多く小児多く当社を祈て疫を免る

松尾七社の内あり此近村に日讀社明智坊石像華厳寺衣手社西芳寺苔山浄宝山浄住寺天満森文徳天皇陵等あり

桂川鉄橋

葛野郡桂川に架す

鐵石にて作り汽車通行の橋にして頗る美観あり

明治十年に架す

近村に迎地蔵久遠寺あり

櫻原

七条通の西

岡村と改称せり駅にして民家多し

丹波街道の宿

大原野神社

官幣中社

訓那大原野村

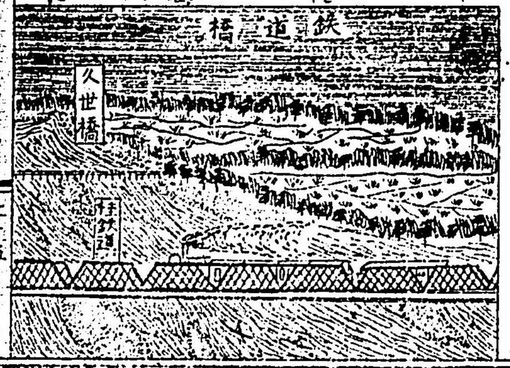
春日神社と云

武甕槌神経津主神天兒屋命姫神

仁明天皇嘉祥三年創建

左大臣冬嗣南都三笠山より勧請

平安城守護神とす



官祭 三月八日南之鯉沢池社有

花光寺 乙訓郡大原野村

小塩山勝林寺と号天台宗本尊薬師如來ハ傳教大師の作開基役行者の自作の不動明王額ハ不野道風の筆二王門金剛力士ハ運慶湛慶の作又西行法師の旧跡あり

パピールフアブリク 葛野郡梅津村

明治九年一月より西洋機械を備へ水車の西洋紙數品を製に惣て西洋家作之又近辺之革の類を製して色染等西洋物品と同品を製に西所共美観あり

桙社 乙訓郡西岩倉の北

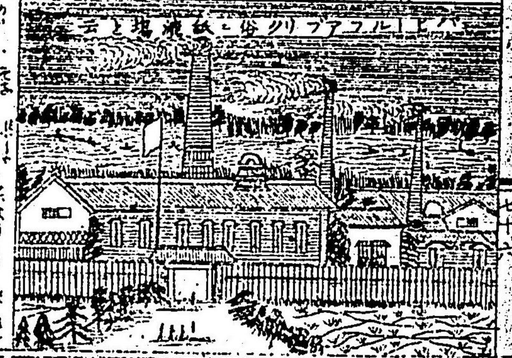
祭神大歳神向日社地主神

西岩倉 同灰方村の南長岩坂本の西

金蔵寺と号に本尊十一面観世音之桓武天皇平安城遷都の時王城の四方之石蔵を置大乗経を収玉ふ故寺之現存せり

三鈷寺 同郡灰谷の上之在

元兼学宗本尊仏眼曼陀羅ハ観性法橋の筆より当寺の西方の山上を髪ヶ嶽と云頂平面より



善峯寺 仝郡小塩山西国二十番の札所あり

里寺を西山善峯寺号に天台宗開基源算上人本尊千手観音の像木ハ加茂神木槻水とて華堂観音ど仝水也 阿弥陀堂の本尊ハ慈覚大師の作三重塔ハ火日如來を安置に白山水仙翁石阿智坂社等あり又卧竜の松ハ並に奇木

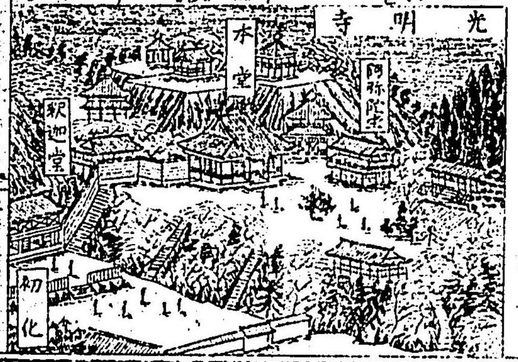
柳谷観世音 仝楊谷山上善峯の南之在

○楊柳の湯市の柳柳水。猶鉛水あり

立観山楊谷寺号に本尊千手観音脇士地蔵尊毘沙門天白河天皇御宇水観上人創建 眼病の人ハ参籠して功有と云へり

粟生光明寺 柳谷の麓粟生村

浄土宗西山派本尊圓光大師像ハ法然上人四国(配流の)以て張作る自作也世之之を張籠御影云阿弥陀堂の本尊ハ恵臣僧都の作 近江国堅田浮御堂千躰仏の中尊より能谷蓮生坊諸国を負廻りし後当山之止云へり方丈ハ御鉢釈迦仏と安置に当寺の堂塔ハ善精工を極め工人の模範とする



向日明神社

乙訓郡向日町

祭神鷓鴣羽葺不合尊此処の産土神と例祭四月中辰日地主神ハ向日明神素盞烏命の孫大歳神子也 貞観元年正月従五位を授る

長岡天満宮

金開田村 境内梅櫻机有

菅原道實公を祀る額ハ霊元天皇の御宸筆 公太宰府へ配流の時自像を写して祀る

宝寺

乙訓郡大山崎 補陀落山宝積寺

本尊十一面観世音 行基大士の作 武帝の面作也 嵩の寶頭留ハ行基の作 庭上ハ聖武帝の御塔 有三金塔ハ大日如来を安置に 什宝に打出の小槌有 元治元年七月の乱に長藩人十七人切腹す 其跡湖石建

天王山

同処

素盞烏子八王子鎮座也 鳥居の額ハ小野道風の筆 祭例四月八日 養老二年再建と梁木に記有

離宮八幡宮

同郡大山崎

祭神應神天皇 也 貞観元年勅諚額ハ神功皇后 行成の筆

離宮の称ハ嵯峨天皇 即行幸の時一泊 故

城南宮

紀伊郡上鳥羽村

祭神國常立尊 日本不易皇太神宮と称す 方除の神として普請の時ハ離国より札を受る者多し 横大路と舒波と至る

淀川橋

豊臣秀吉公の時迄ハ松浦 大橋小橋孫橋と架す 下二山崎の渡有

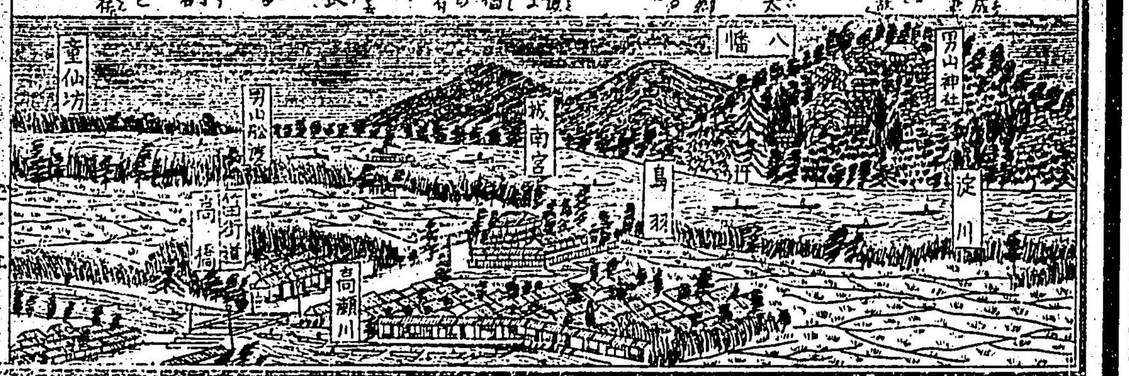
秀吉の命にて

男山神社

綴喜郡八幡庄 俗に八幡八幡宮と云ハ

官幣大社應神天皇気長足姫尊比咩大神を祭る

清和天皇 貞観二年庚辰 神殿創建有 世に言社殿の欄ハ黄金也と 補正成公の奉納の木今存 腐朽して 境内 香呂峯 旭峯 岩 末社男し 此山嶺を



童仙房

相楽郡南山城

此地元亮薫地を明治二年十月開拓に着手有て今村落を成陶器盛に製出す此場不動滝有岩礎泉流出

百丈山大智寺

相楽郡和束郷湯船奥小杉村

禅宗大観禅師開基本尊釈迦仏の作　本願院仏殿を再建せらる方丈より山上十丁程にして坐禅石あり高三十間横幅三十間頂上の平坦十間計也大観禅師一千日坐禅しとる処より其外霊石多し

鷲峰山金胎寺

相楽郡厚山村

真言宗

天武天皇白鳳四年役行者天竺霊鷲山を移に八つの峯八蓮花に象り那釈迦岳阿弥陀岳弥勒岳宝生岳阿閦岳虚空蔵岳不虚岳鈴楽岳[illegible]年泰澄法師七堂伽藍造営に按苑廃し今跡と存す

笠置寺

仝笠置村

鹿路山と号に

天武天皇建立後醍醐天皇当山皇居時兵火に亡び本尊弥勒仏自然石に即有薬師石高十間横五間虚空蔵石高八間石面仏像見文殊石高五間横四間十千屈胎内潜本九躰三の九躰名所多

解満寺

相楽郡綺田村

真言宗此寺の縁記敷多の蟹出て蛇をせめ蛇を退治せしと由て寺とに祭くハ観音霊場記とあり

伏水船場

蒸汽船三十石船の出船有三十石船也船宿多し實鍬茶花の地へ

巨椋池

紀伊郡久世郡跨る

此池ハ周廻四里之蓮の名所夏月遊人多し

観月橋

伏水市街の東南宇治川に架に

此橋ハ元豊後橋と云京都より大和に至る街道にして北詔の東を云

宇治

宇治郡久世郡跨る

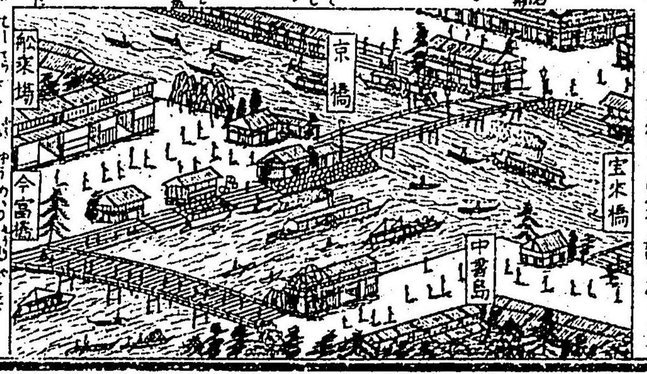
宇治橋三の間ハ秀吉公御茶水に云近年橋ハ流失し假橋を架に

縣神社祭神を法月四五五近知らず回人紀指餅に川向に橋寺尋宜し有名宿屋尋し

平等院

久世郡宇治橋の西川上

天台宗元左大臣[illegible]公の別荘に関白頼道公初て寺に本尊阿弥陀仏[illegible]殿舎ハ鳳凰堂と称し鳳凰を象る元上[illegible]の風定朝の作安に有風に題ひ舞廊の芝ハ頼政自殺の古蹟[illegible]



興正寺

宇治橋東詰川上

仏徳山と号に

禪宗曹洞派後深草天皇建立開基道光禪師本尊釈迦仏

正保年中万安和尚再興城州淀の城主永井直政建営に。門前宇治川・淀と琴坂と云川中に浮島・亀石・猪姫社・北に恵心院・龍宮観音寺有

三室戸寺

宇治の東北元三室村

明星山と号に西國十番の札所

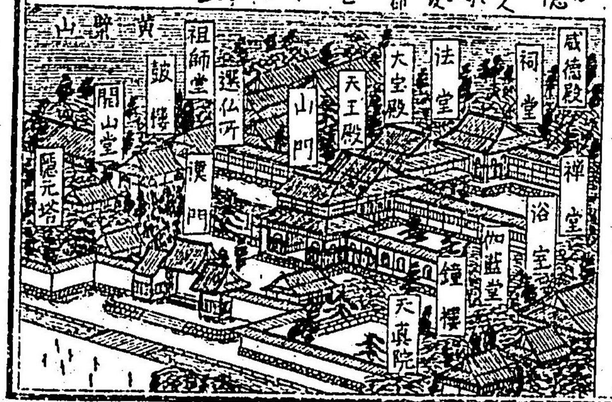
天台宗本尊千手観世音ハ閻浮檀金丈立像あり

此尊像宇治山東岩瀬の水底より出現し玉ふ。宇治橋より二丁下と橘小嶋崎。山吹の瀬。蛸蛤石。喜撰嶽。明星山。宇治山有

黄檗山

宇治郡大輪田村

万福寺号禪宗開基隠元和尚ハ大明福州福清の人姓ハ林氏諱ハ隆琦字ハ隠元。本朝後水尾帝寛文三年に東渡し萬治二年公命に依て山城宇治郡の勝地を賜り殿堂楼閣伽藍を支那様式を模寛文三年九月草創し精舍の経営多く萬治十三年四月二日後水尾上皇ト大光普照國師の号賜ふ一切経大般若経ハ銭元和尚の開版ニ



日野藥師

宇治郡日野村

東光山法界寺号真言宗本尊藥師仏

運慶作此尊像ハ胎内願文ハ出ル

一言寺

日野北醍醐村

真言宗本尊千手観音

安阿弥作内侍堂ニハ阿波内侍の使を安置に小納言信西の娘あり

醍醐寺

宇治郡醍醐村

深雪山と号に西国十一番の札所

山上に在を上の醍醐と云山下に在諸堂を下の醍醐と云俱に真言宗也

開基理源大師延喜四年醍醐天皇の御建立より修験道の源とに

本尊藥師仏ハ秀吉の建立

開山堂ハ弘法大師五重塔ハ基陀羅尼山脈に不動堂有古墳より女人登山を禁ずる如意輪堂本尊大師

勧修寺

宇治郡大亀谷北

華厳真言を兼

開基範俊僧正延喜四年建立本尊延寿帝と御等身の観音ハ仰丈五尺三寸

山科郷西山村岩明神馬場先北側藪の中に在り

大石良雄旧跡

花山院

花山村

元慶寺と号天台宗本尊藥師如來ハ僧正遍照の作仏ハ人皇六十五代皇帝此寺に入御し玉ふ故花山院と称に

山科御坊

仝処

両本願寺掛所二ヶ寺有

八代蓮如上人年中御堂建立今山科御坊と称に毎年三月二十五日蓮如上人の祭西にあり

蓮如上人の正忌有蓮如上人の家東にあり

牛尾山

宇治郡小山村山上

法嚴寺号真言宗本尊十一面觀音天智天皇の作脇士不動明王毘沙門天を安置に又行叡屋延鎮法師の像有当時住昔延鎮沙門音羽山へ登り行叡居士東国へ行玉ふ時後世の記もこの山炭へ沓を落其沓拾ひて当寺の什宝とに成大悲の化身の沓ゝ疏水機械の由来ハ清水寺の縁記に委し昔此牛尾山を清水寺の奥の院とに此外○八幡社田村塚白石明神二所社白石礎神無森蟬丸社六地蔵十禪寺諸羽社毘沙門堂宝祥寺鏡の池御廟野千本松跡上水明神社天智天皇陵等有り

日岡峠

三条通大津道

俗ゝ亀水と云清水涌出云此下ゝ明治十年峠を開平地とし人馬往来便とに

疏水機械場

日岡

疏水概図

明治十八年五月より大津三保崎より疏水運河を開三井寺下を過ぎ日岡ゝ至り分支し一ハ西北ゝ至り鴨川ゝ入一ハ南禪寺楼橋を過北し諸村を経て御死内入

水力電気有廿五年六月開

北野神社ハ西山名勝へ廻リ南ハ淀男山八幡宮ニ至リ宇治山科ニ至ル

三條大橋より洛中社寺名勝之部

基督禮拜堂 河原町三条上

此堂ハ基督説教場ニ在て日曜日ニハ信者多く集る

常盤ホテル 河原町二条下

此旅舎ハ西洋風の建築にして明治二十四年落成内外國人投宿に食向ハ和洋を兼

勧修寺別院 河原町二条上

高田派親鸞上人弘法にして本尊阿弥陀如来

本能寺 寺町御池下

日蓮宗勝劣派の本寺也寛正年中草創開基日隆上人なり 当寺昔ハ西洞院大角にあり其頃織田信長此寺にて誅れ玉ひしより後豊臣秀吉此処に移に

妙満寺 寺町二条下

妙塔山と号に日蓮宗にて十六本山の一也 永徳三年創立開基日什上人より当寺と和列月高道成寺の錫杖

革堂行願寺 寺町竹屋町西國十九番の札所なり

天台宗本尊十一面観世音ハ行願上人の作昔ハ一條小川に在り故ハ一条革堂と号に

下御霊神社 寺町丸太町南

府社祀所早良親王伊豫革親王藤原夫人文太夫宮田丸橘逸勢藤原廣嗣吉備大臣火雷神等なり

女学校 土手町丸太町下

女紅場称す 裁縫字書洋語算術礼式等を教授に

療病院 河原町荒神口上

官立明治十五年の建築して諸病を治療する所

師範学校 寺町荒神口

諸学兵式運動体操教授

盧山寺 師範学校の北 今町鹿小路上

盧山天台誦寺号に 天台律 真言浄土

兼学也開基慈恵大師当山寺と 法然上人自筆の法花集巻 親鸞上人四句の文あり

清浄華院 盧山寺の北

浄土宗四ケの本寺也本尊開光大師の像を安置に

本善寺 浄華院の北

光了山と号に後小松天皇の御宇創建日蓮宗十六本山の一ん日陳上人の開基ん

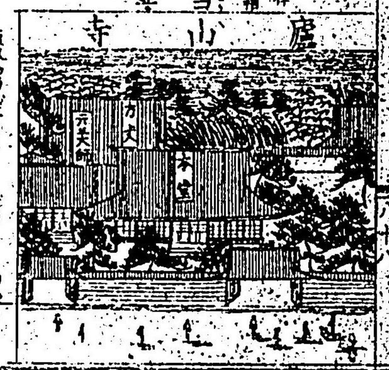
清荒神社 荒神口寺町東

祀所八面八臂の荒神也元ハ 摂津勝尾山清澄鎮座に後陽成天皇勅願ん仮て五条坊門油小路の西へ勅請に 其後此地へ移に

本満寺 寺町今出川北

廣布山と号に

日蓮宗開基日秀祖師堂と安置に日蓮上人の像ハ昔丹列黒田村へ在しを此所へ移に



阿弥陀寺 寺町鞍馬口南

蓮華山と号に

浄土宗本尊阿弥陀仏開基清玉上人也当寺と織田信長信忠の影像有 本能寺合戦の際討死しとる織田家臣の墓あり

相國寺 今出川烏丸東

萬年山相国兼天禅寺と号に

禅宗五山の第一也後小松帝明徳三年足利義満の建立

開山夢窓國師本尊釈迦

阿難迦葉大元達磨の像

を安置に塔中普光院ハ

定家の塔有

同志社英学校 相国寺門前

洋学を教授に 中ハ神学とて基督宗の一派有り

中学校 新町下立賣上

盲唖院 釜座椹木町

盲人唖人ハ算筆読書工

事等を教授に 其進歩ハ通常人の及ぶ所に非に

神泉苑

御池大宮西

真言宗善女龍王の祠ハ弘法大師小野小町両を祈し事有古ハ境内廣く白河天皇御遊覧の時此池より金造太刀上云へり

壬生寺

仏光寺西千本東あり

真言律宗を兼ル正暦三年の創建本尊地蔵尊ハ定朝の作毎年四月九日より大念仏會と称へ一種雅観の狂言有又千生の現文鮒口の鐘あり共に什宝と叫覚上人より狂言初る

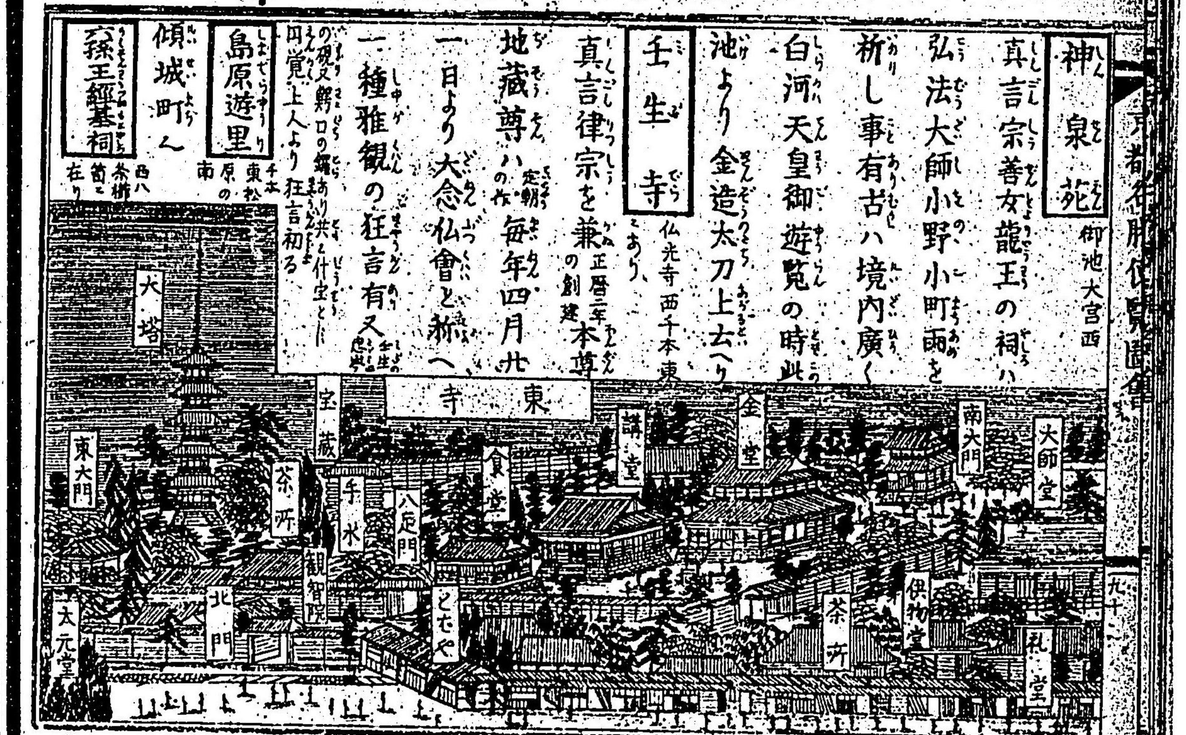
島原遊里

東松原の南

傾城町ハ

孫王經基祠

西八条柳馬場の西



此地ハ元經基の殿舎の旧跡なして源實朝の室三位尼寺を創立して大通寺と号ス元禄年中始めて祠を建立し宝永四年に祭礼を初む近年寺を癈す其堂ハ今誓願寺の本堂と成る

東寺

大宮西八条

八幡山教王護國寺秘密傳法院と号に又東寺共左寺共真言宗開基弘法大師元大内裏の鴻臚館を賜ふ空海延暦二十三年入唐し大同三年帰朝し十月に敕を賜ふ空海年五月に嵯峨天皇敕して諸宗の名僧を内裏に集め各宗の徳と空海曰我宗ハ大日神尊の勅言一度阿字を観ぜ九ハ即身成仏と終に議論に帝空海に敕し即身成仏の印し見よと空海則ち五鈷三摩地観を入忽ち首より五仏の宝冠を出し身より五色の光明を放ち面色金色の毘盧遮那仏と成れハ諸僧ハ合掌して伏し仁明帝御宇嘉和二年三月廿二日空海六十二才で高野山に入定し給ふ後延喜廿一年に弘法大師と謚を賜ふ大師堂に弘法大師の像を安置に金堂ハ本尊薬師如來此堂ハ豊臣秀頼の再建と東山大仏殿の模形なり講堂ハ本尊大日如來脇に金剛菩薩五を安置に食堂ハ本尊千手千大尊四天王等

眼観世音聖法僧正の作脇に地蔵菩薩此像八元西寺に在しと云ふ毘沙門天像八元羅城門の遺を安置に五重の塔ハ境内の巽に在上にありしと云

興正寺

堀川七条

真宗の本山なり始め山城国宇治郡山科に在り其後法谷に移し佛光寺と改む文明年中別に仏光寺を立て二寺とあり本尊阿弥陀仏ハ安阿弥の作なり

本願寺

堀川七条北

真宗の本山として開山親鸞上人迂化の后十一年を経て文永九年親鸞上人の息女覺信尼東山大谷建立ありしゞ兵乱の為に所々に移転し正親町天皇天正十九年辛卯に木尊阿弥陀仏ハ親鸞上人の自作影像世に骨肉の御影と云阿弥陀堂の本尊阿弥陀仏ハ春日の作と庭中滴水園飛雲閣有大教校ハ壹処門前にあり

本圓寺

大宮松原南大光山と号に

日蓮宗惣本山始め相列鎌倉松葉谷に建立し法華堂と称一宗最初の精舎と暦応四年光厳帝の勅に依て今の地に移に本尊ハ日助上人一字三礼の法華経を安置に日蓮上人の掌鷲鷲聖陀羅尊寺の什物と松原西之洞院西

天伏社

桓武帝遷都の始平安城鎮衛為造営に醍醐の祖神祭神少彦名命　大巳貴命　天照大神

宮大臣社

西洞院高辻

祭所天満宮菅原是善の鎮て誕生水あり

空也堂

蛸薬師堀川東

開山空也上人ありて踊念仏の修行

郵便電信局

三条東洞院

初めハ郵便局と電信局と分離して両角に在し

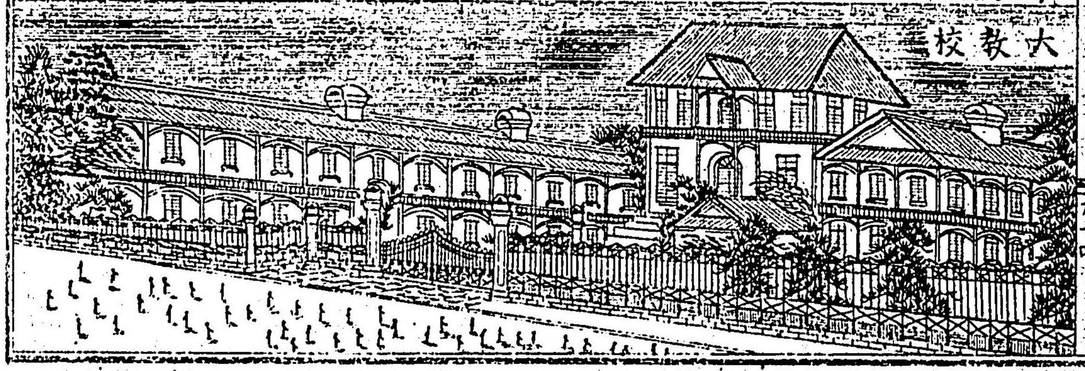
り近年合併して郵便局と
て事務を取扱ふ洋館
まで美麗なり

六角堂 六角烏丸東 西国十八番札所

天台宗頂法寺と号に開
基ハ聖徳太子なり本尊
如意輪観世音ハ淡路國
岩屋浦より出現しとる
尊像にて御丈一寸八分
聖徳太子七世の守本尊
也本堂の東に太子堂有
西國十八番の札所なり

御所八幡宮 御池堺町西

足利尊氏卿建武年中勧請せり
鳳凰山等持寺云 夢窓国師の住居なり



護王神社 烏丸下長者町

別格官幣社として和気清麿公の霊を祭る

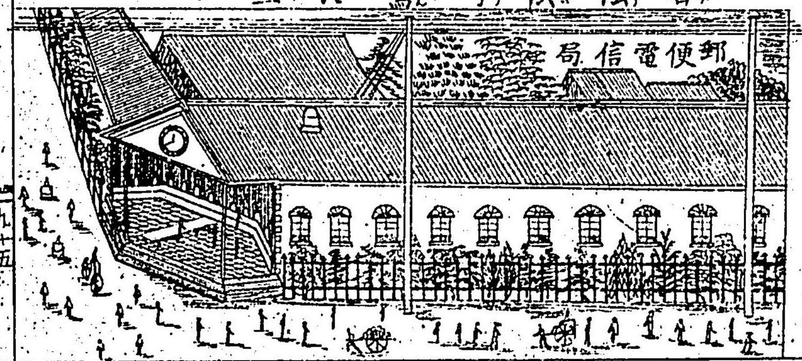
梨木神社 寺町廣小路

別格官幣社として三条實萬公の霊を祭る

仏光寺 仏光寺高倉

真宗の本山にして渋谷
山と号に親鸞上人弘法
所なして元大仏の東渋
谷ハ在し故渋谷山の号
茲に初る本堂にハ親鸞
上人自作の像を安置に
阿弥陀堂本尊ハ立像三
尺一寸八分慈覚大師の
作なり

因幡薬師 松原烏丸



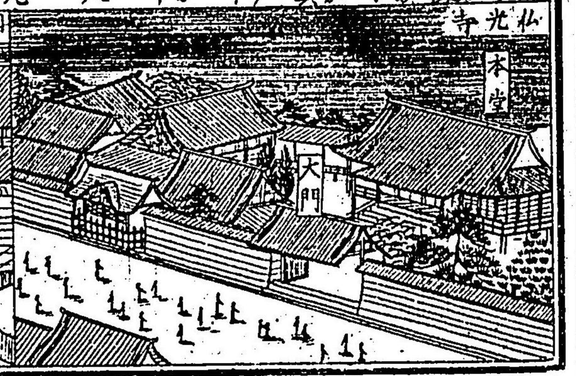
真言宗平等寺と号に本六尊薬師如來立像六尺二角寸番盤の上に安置に本朝三如來の一こして天竺祇園精舎の木尊より天德三年橘行平因幡の國の海中より感得せ一所より長保五年光朝禪師創建中臾足利義詮の再建高倉天皇の御震筆の額あり又中納言行平卿の像を安置に元治元年こ兵火こ焼失し今再建出來せり

東本願寺

烏丸七条北

東派真宗の本山よして親鸞上人十一男顕如上人の嫡子教如上人徳川家康公の命こよりて慶長八年癸卯こ創建に本尊親鸞上人自作の御真影を安置に元治元年甲子の兵火こ焼失し自今再建最中こして其盛大言こ尽しがたし明治九年十一月親鸞上人へ見真大師乃諡りを給ふ旨を両本願寺専修寺仏光寺真正寺錦織寺等へ御沙汰これ有

阿弥陀堂本尊ハ安阿弥の作より又明治二十五



年三月ニ文学察とて一大学校を落成し是松原大宮西入所より又枳殻御殿とて上株數屋町東洞院東行当りニ東本願寺の御殿あり寺の御殿

東本願寺

御殿

玄関

堂一所

阿弥陀堂

本堂

番所

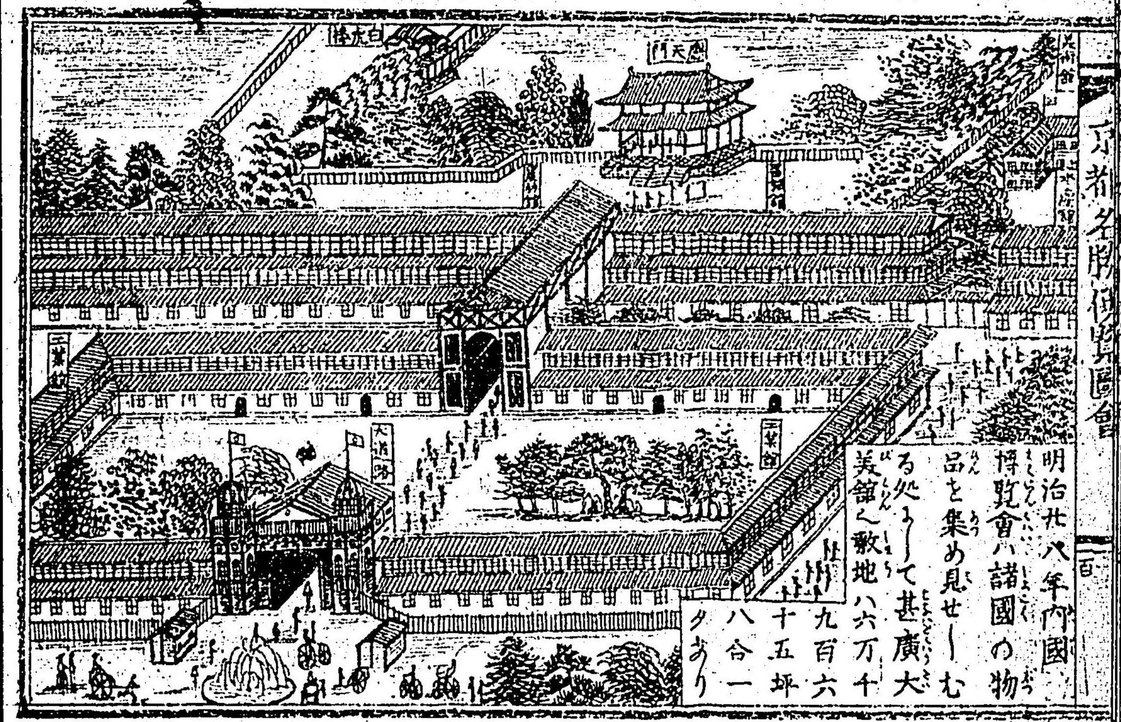
南門

ステーシヨン

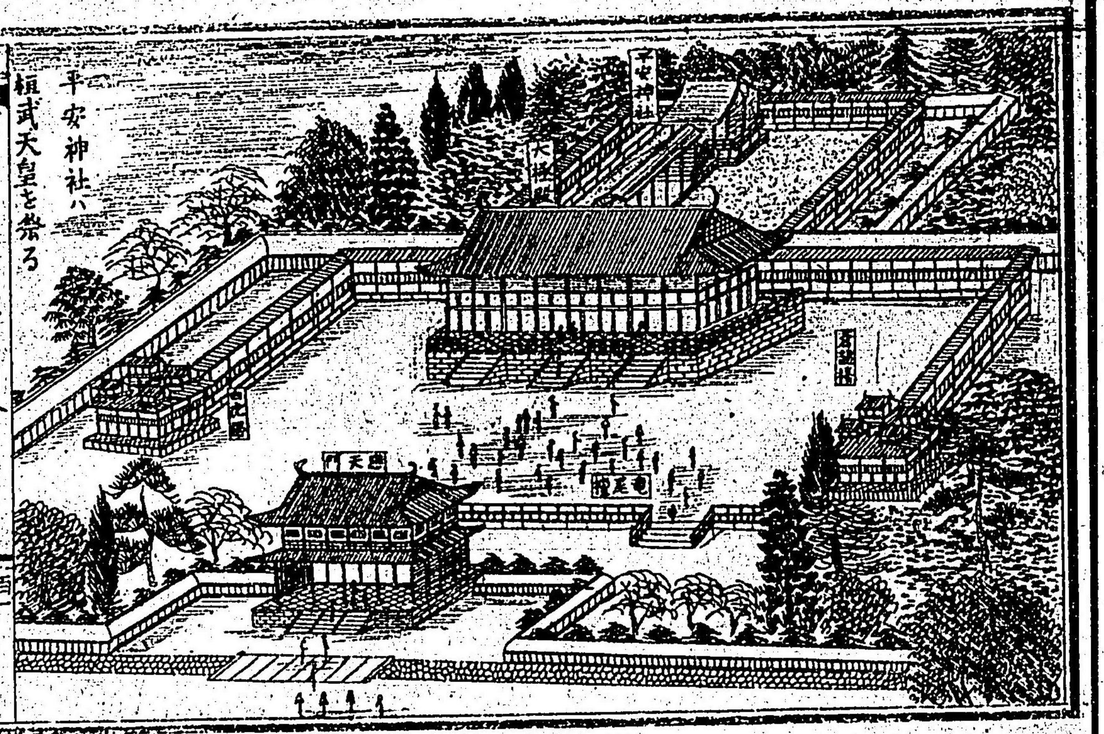
烏丸七条南

此停車場ハ明治十年二月五日京都神戸間汽車開通式被行たるニ付聖上御臨幸在らせられ勅語有係り官員ハ祝詞を奏せり今ハ全國へ鉄道自在より該場ハ西洋風の建築にして美舘ニ

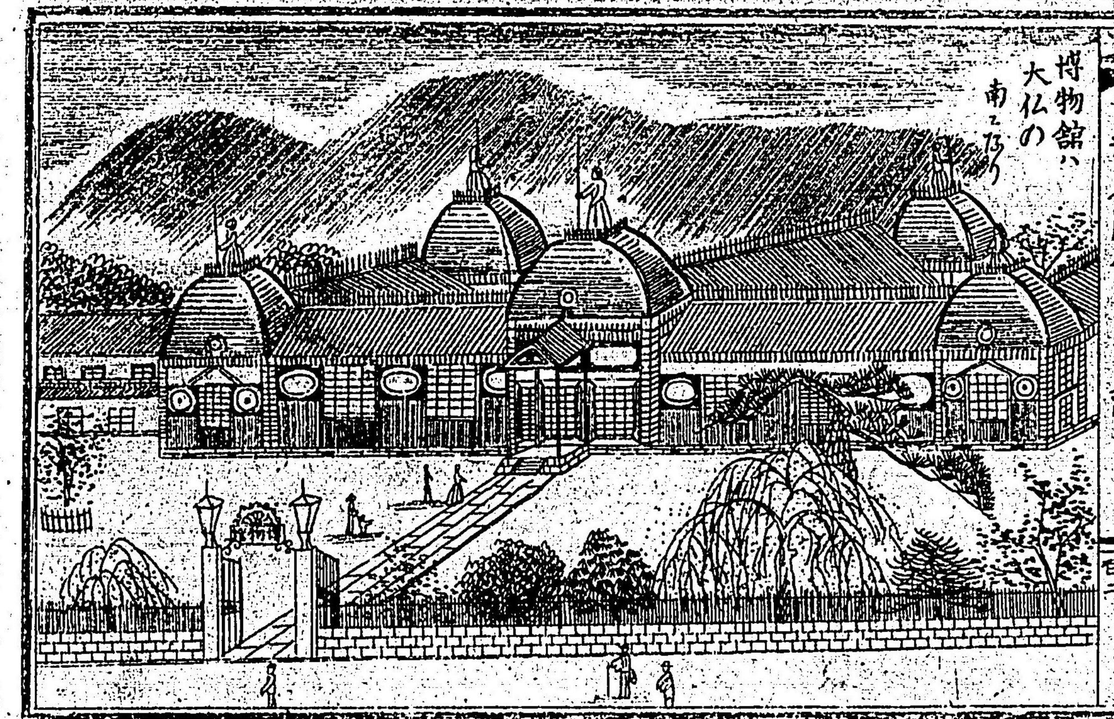
ステーシヨン



明治廿八年内國博覽會ハ諸國の物品を集め見せしむる処にして甚廣大なる美館の敷地ハ六万千九百六十五坪八合一夕あり



平安神社ハ桓武天皇を祭る



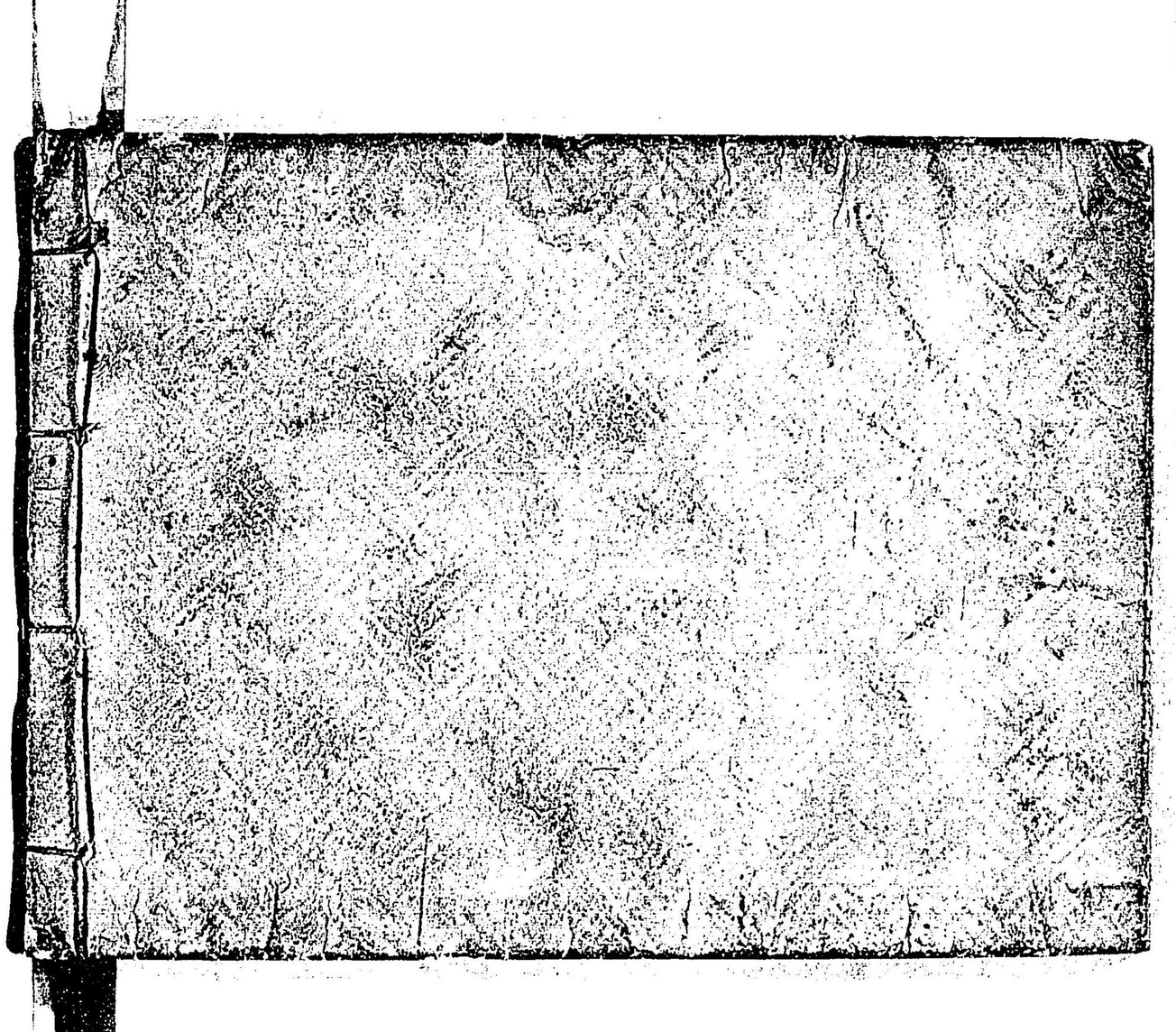
明治廿八年三月四日印刷
同　年同日八日發行

定價金廿五錢

發行兼
著作者　内藤彦一
印刷者

京都市御幸町四条南ニ入
大黒町十九番戸

京都新京極四条北　上仙三猿堂
仝　所蛸薬師北ニ入　下村米吉
仝　所　六角南ニ入　田中吉久
仝　所　三条南ニ入　林　新次郎
仝　寺町東二条角　鳥居恒次郎
仝　四条御幸町角　大谷勘兵衛
仝　油小路五条南ニ入　小山菊治郎
仝　七条ステーション　駸々堂支店
仝　新門前縄手東　永井徳治郎
仝　知恩院鐘堂下　石原市松



特57
966

025384-000-3

特57-966

京都名勝便覧図会（明治改正）

内藤　彦一／著

M28

ADC-2829